



湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く

第79回国民スポーツ大会

国スポ 2025

卓球競技会



期 日：2025年9月28日(日)～10月2日(木)

競技会場：野州市総合体育館

主 催：🌀公益財団法人日本スポーツ協会

文部科学省・滋賀県・公益財団法人日本卓球協会・野州市



**JAPAN
GAMES**

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ

第79回国民スポーツ大会会長 公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠 藤 利 明…	1
文部科学大臣 あ べ 俊 子…	2
公益財団法人日本卓球協会 会長 河 田 正 也…	3

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会長 滋賀県知事 三日月 大 造…	4
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会会長 野洲市長 櫻 本 直 樹…	5
一般社団法人滋賀県卓球協会 会長 横 江 政 則…	6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程 …	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程 …	8
大会役員 …	9
競技会役員 …	13
競技役員 …	15
競技補助員・競技会係員・競技会補助員 …	18
総則 …	19
実施要項 …	39
試合方法 …	43
総合成績決定方法 …	44
競技上の注意 …	45
競技日程 …	47

卓球競技組合せ表

成年男子 …	48
成年女子 …	49
少年男子 …	50
少年女子 …	51

競技タイムテーブル …	52
競技の見方 …	57
成績記録表 …	58
男女総合・女子総合成績一覧表 …	60
各種別ブロック代表一覧表 …	61
参加申込人数一覧表 …	62
参加選手一覧表	
成年男子 …	63
成年女子 …	65
少年男子 …	70
少年女子 …	74
成年男女・少年男女 第5位表彰式 式次第 …	76
成年男女・少年男女 表彰式、総合表彰式 式次第 …	77
練習会場の使用について …	78
競技会場の練習時間割当表 …	79
都道府県・種別入賞回数 …	80
年次別成績一覧表（前回大会までの記録） …	81
会場配置図 …	90
関係機関連絡先一覧表 …	93
日本卓球協会（JTTA）公認品目一覧 …	94



あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

あべ 俊子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。



あ い さ つ

公益財団法人日本卓球協会

会 長 河 田 正 也

“湖国の感動 未来へつなぐ”を大会メッセージとした、第79回国民スポーツ大会（わた SHIGA 輝く国スポ）卓球競技会が、野洲川や日野川が流入する有名な琵琶湖や、美しい稜線から近江富士と呼ばれている三上山など自然豊かであるとともに、多数の銅鐸が出土したことから 銅鐸の町として知られている滋賀県野洲市にある野洲市総合体育館において、本日より5日間の熱戦が繰り広げられますことは誠に喜ばしいことであります。

昨年から大会名称が国民スポーツ大会に変わり2回目の大会となり、公益財団法人日本卓球協会と致しましても、これまで以上に大会を通じて、競技団体としての競技力の向上に役立ち、さらに卓球の普及につながるものとして大いに期待を寄せております。

全国各地およびブロックでの厳しい戦いを経て栄えあるふるさとの代表となられた選手の皆さん、日頃練磨された技と力を十二分に発揮されると同時に、ふるさとに錦を飾ることができますようご健闘されることを期待しております。また、大会の趣旨をよく理解され、地元の方々との熱い交流はもとより、選手相互に親睦と友好を深め、国民スポーツの祭典にふさわしい大会に盛り上げていただきたいと思います。

終わりに、本大会を開催するにあたり、ご尽力賜りました滋賀県並びにわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会の方々、競技運営に携わる一般社団法人滋賀県卓球協会および地元の卓球関係者の皆さんに、これまでの永年にわたる準備とご尽力に対し感謝申し上げますとともに、ご支援くださった多くの関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしていきたいと思います。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていきたいと思います。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会会長

野洲市長 櫻 本 直 樹

第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」卓球競技会が、全国各地から選手・監督ならびに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ野洲市で開催できますことは誠に光栄であり、野洲市民を代表し心から歓迎申し上げます。

野洲市は、滋賀県南部に位置し、北に日本最大の湖である「琵琶湖」を有し、南にはその美しさから「近江富士」とも称される「三上山」を望むまちで、弥生時代に使用された日本最大の「銅鐸」が発掘されたまちでもあります。市内には日本を代表する街道の一つである中山道が通り、江戸時代に朝鮮通信使が江戸へ赴くために通行した朝鮮人街道との分岐点もあります。近年では、京都や大阪といった大都市のベッドタウンとして、また、ものづくり企業の製造・研究拠点が集積するまちとして発展を続けてまいりました。令和10年度には県立高等専門学校が開校予定となっており、産業のまちとしてさらなる発展が期待されているところです。

さて、野洲市での国民スポーツ大会（国民体育大会）開催は、今から44年前の昭和56年に開催された第36回国民体育大会「びわこ国体」にさかのぼります。当時は滋賀県希望が丘文化公園にてラグビーフットボール競技が開催されました。今回の国民スポーツ大会では、正式競技3競技（県運営競技を含む）、公開競技1競技、デモンストレーションスポーツ2競技が本市で開催されます。選手・監督の皆様におかれましては、各都道府県の代表として、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され、実りある大会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、大会期間中に全国各地からお越しになる皆様の心のこもったおもてなしでお迎えできるよう準備を進めてまいりました。今回の来訪をきっかけに湖国の食や自然の魅力に触れていただけますと幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

一般社団法人滋賀県卓球協会

会 長 横 江 政 則

「湖国の感動 未来へつなぐ」のメッセージを掲げ、第79回国民スポーツ大会が、古墳群や神社仏閣など豊富な歴史、文化遺産に恵まれた町、滋賀県野洲市において開催されますことを、一般社団法人滋賀県卓球協会一同、大変光栄に思います。そして、全国からお集まりいただいた、多くの選手の皆様、そして、監督及び関係者の皆様に、心よりご歓迎を申し上げます。

選手の皆様におかれましては、この格式ある舞台で、日頃培われた力と技を存分に発揮し、観る者の心を揺さぶる熱戦を繰り広げてくださることを楽しみにしております。競技を通して生まれる交流が、卓球界のさらなる発展に繋がることを願っております。

卓球競技につきましては、誰もが親しめる競技ではありますが、大変奥の深い競技でもあります。ここにお集まりの選手の皆様の、多くの練習を重ね、地域の代表としての誇りをもって戦われる姿は、全国の皆様の思いのなかに留まり、心の中に刻まれることであると思います。どうか、日頃の練習の成果を存分に発揮いただき、悔いのない戦いを展開され、一人でも多くの方に、卓球のすばらしさを感じていただくことを、期待いたします。

結びに、ご支援いただきました公益財団法人日本卓球協会、滋賀県関係各位並びに、これまでの準備や競技運営に携わる一般社団法人滋賀県卓球協会及び関係者、競技補助員の皆様に深く感謝申し上げます。歓迎のことばといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

- 第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

- 第2条** 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

- 第3条** 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
 - (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

- 第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

- 附 則** 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025 年 7 月 31 日現在
(順不同・敬称略)

策之隆実織子生澄国子淳司津淳洋衛子弘美行人彦雄一彰仁博次幸太郎	裕孝砂美陽直日出元洋健美勝利ゆり明俊哲幸節祐喜健恭慎	岡西田井木保子丸川藤永野崎田村上澤山邊村藤井出山本西	森安勝植石浦桐久金石長安佐宮大山村中井大中田布谷酒新井森山松小	子典子要之子美洋子之久子雄美文章実周博美成夫之央子信之雄広浩三治	利英聖和成正保信登恒絵和伸博正和弘晃陽雅昌高智繁誠英	宮本元川岡保寺藤城橋頭賀原本田中石村谷山口杉沢山子部本橋本尾	三河橋坂湯吉久小工室土鬼多上南岡蒔田丸木池園出上大奥田田松高山横	夫造朗均か博悟実めぐみ誠晃志子仁宏也彦正己彦和二惠明佳明仁平樹之晃	不二大喜さや丈め洋尚寛壮恒徹保和重賢か典玲俊清宏秀敏	中日月川松島塚嶋田原崎木永口里村口野部藤野念川島葉條見村永飼田	田三森越村鹿飯中池藤森井齋湧山中田市谷近小知前生千北塩中福猪奥	子明美治俊一佳香子定之司洋平寿太郎香一出子弘太郎一久徹文久一已夫一雄伯彦	俊利直広雅助由久芳康裕智洋長丈美健敬彰良啓資政直幸知成博則和一	べ藤子伏藤崎伏井師平生田瀬氣田治場田藤見部藤川城中門野谷田崎西部田田	あ遠益室伊岡室櫻笠木旗藤貝多吉上馬千加浅建齋今古田城茂熊藤山今南増船	長長問	名誉会副顧



近藤	藤中	一	幸稔	堂馬	本越	ひ祐	さ希	美彦	河青	村木	祐章	一泰	渡城	邊戸	浩英	三敏
田藤	本本		武格	小岩	柳元	勝幸	彦成	弘子	辛平	木良	秀朝	子治	宮藤	成原	康正	蔵樹
藤大	原菅	嘉	朗司	川宇	津木	隆妙	子健	子行	佐菊	藤部	廣幸	一新	奈小	良林	久和	隆美
小寺	澤城	正泰	孝邦	山赤	山口	純敦	健行	子紀	武增	子村		宏子	野矢	中野	賢一	厚彦
金茂	里岡	敏隆	毅孝	浅嘉	野田	敦由	行子	子ス	有北	野村	治裕	子英	上小	野寺	裕和	一郎雄
大こ	やり	信定	史勉	斎藤	井野	アレク	彦地	地泰	武北	村浦	展嘉	英人	宮小	本椋	正明	宏清
目伊	片藤	裕東	子一	村草	鈴木	聖大	地泰	子文	杉宮	本間	和恒	靖也	永深	浜澤	祐俊	子二
有坂	森田	直良	志治	鈴三	須屋	和裕	子文	室一	仲富	山道	達英	明二	川馬	合場	益正	一弘也
藤砂	岡田	章幸	男満	三金	丸谷	恭玄	子一	郎次	安中	村砂	光真	一威	河牧	田島	かれん	人雅
豊村	井田	幸一	男一郎	永大	野保	正素	子生	子栄	真世	耕羽	弘秀	成樹	土笹	田川	善光	人弘英
町番	匠	幸一	男一郎	久荒	川村	裕美	子栄	子司	丹小	谷村	知清	也士	岩達	城増	光拓	英也彦
寶鶴	田本	有富	司一	吉遠	藤田	美祐	子浩	子治	北大	野角	元英	裕世	大熊	井谷	和俊	彦人朗
福山			博浩	岡杉	本谷	伸達	治二	加史	花高	野村	秀元	剛章	新阿	田部	八守	一恭也
馳田	口脇	義隆	俊泉	中高	橋岡	昭嗣	男政	太郎	大齋	藤山	達正	純義	伊池	藤宗	誠孝	昌實
西宮	崎田	知岩	男博	林村	岡部	誠益	直		丸後	田口	祥俊		越榎	田石	賢康	吾一
荻大	塚斐	隆デ	ニー	服麻	生				山日	隈			大塩	田		
甲玉	城															

わたSHIGA輝く国スポ 2025

参 与

俊人一人恵次紀隆子樹勝苗春利人誠二理貴也二司弘明順保郎稔子	國文誠真佳鉄利成啓秀早千忠信純裕航純昌英太忠千	村河藤田口水沼沢田村田吹田川西永田本村田本西畑川田	有小有加桐佐清菅谷中本東野松山伊保北小岩角寺堤野武山上田市太	彦也和史代行二郎史代則子恵也恵義一義健啓知寿寛昭文司幸治哉	康和英浩千清清松太雅三千重知三達佳隆陽宣克国和智博貴良恒智美	井崎東村井田防中川木重田田村田木見村城村津堂澤田戸木野山	赤岩海河駒柴周田中節森窪園中中正原浅竹今有甲藤岸金山川三佐崎	子彦正二仁一則誠明宏人一之守人美晃成史子治久夫努伸祥太子宣雄	住政芳隆榮幸義武成真和暁久一高加秀善良義幸とし弘孝秀公博弘和治	杉江村島野田井中波田沢井村田原内島中浦田田井村林井野長西中垣崎田橋藤井	大今奥川桑柴白田富野木土森中岡藤池田森松西藤市涌寺竹石草富大田稻田吉佐加安	子也江成学剛ひとみ樹隆行庸江弘彦一稔史司涉樹博良二郎志一也成太郎代和浩昭子朗裕彦晴憲	圭辰泰昭ひと英典和元織晃寛光雅健直和久祥正博真泰健照弘史敬哲文利千克	井狩川井里田水中口山上本本郷山井林藤川本江保橋倉本原圓橋村井本田永原澤谷橋木	糴井小河九重清田谷中村岸塚東奥白小佐橋櫻堀久高熊山杉一高上赤山岩松菅山熊江青
-------------------------------	-------------------------	---------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	--	------------------------------------	--	--

委 員 長 副委員長 総務委員



委 員	了夫		平松	野本	康圭	高福	橋士	聖幸	一洋	吉栗	村原	政崇	弘義	若細	月野	等光
	太郎	淳	渡寺	邊澤	秀	佐久	間川	裕重	司男	品舟	田喜	奧信	義生	濱高	野川	史勉
	則	廣	中鈴	梶木	章大	安川	藤口	正宏	美巖	加和	藤田	憲剛	二潔	宮岡	泉原	輔茂
	祐	幸	田菅	口原	正久	平高	井橋	宏	治昇	岸長	川南	哲信	之生	西衛	藤中	斗司
	雄	亘	渡井	本	由美	三関	井根	千明	壽子	鈴中	木山	二	吾三	山越	前口	史司
	子裕	大	吉金	田子	和航	杉野	本口	好友	二里	東品	野治	眞惠	子映	川富	澤口	三也
	介	裕	政寺	岡垣	佑芳	坊田	中本	百遙	花大	小河	原高	章弘	映昭	田近	藤波	紀潤
	裕	樹	南門	野	久仁	池清	水木	佳直	子敦	宇横	江井	和尚	紀男	沼見	田貫	紀輔
	美人	也	加太	藤田	真貴	高鈴	野保	正	規暢	高瀬	谷埜	直由	史里	大深	谷玉	紀香
	紀二	正	金村	松浦	美健	新井	澤田	克隆	行司	岩戒	林曾	剛	史学	児稻	葉原	伸也
	成	行	杉高	橋本	守和	藤吉	村本	宗綾	司浩	我嶋	中田	純新	也幸	木前	田口	博史
	一郎	洋	松久	米井	康賢	高尾	田本	孝一	行成	松山	辻松	岡山	良史	河濱	田本	朗宏
	司人	哲	笠吉	野野	瑞勇	横遠	山藤	美信	和哉	山千	元葉	尚雅	也之	宮菅	城間	人晃
	勝巳	之	高須	藤瀬	義俊	角酒	田井	真雅	司洋	柄確	澤井	宏守	稔弘	竹武	田部	和巳
	之		東井	上内	雅通	今松	後井	元健	彦守	沼吉	田岡	直公	彦一	田部	長谷	門孝
			井竹	寺崎	敦	荒綾	井木	部吉	治也	平	江			黑	木	淳一郎

競技会役員

2025 年 7 月 31 日現在
(順不同・敬称略)

[illegible]



朗明子勝彦哉治孝雄裕夫	市俊有良昭徹誠敏幹基為	木崎古狩出塚岡	鈴橋山瀬井井中大辻辻前	子己志仁典巳志博嗣勝次	康克敦久昭拓篤和真定孝	菅郷崎出村施井本江野	小東山南辻西布平山入佐	一二行亘尚治昭太郎久基茂	伸俊弘康岩浩比呂幸	下村田村尻井田	木津村本苗川駒間杉宇立永	郎介雄剛子明栄美夫行聡	市陽嘉玲秀一明達利ひとみ	文中部本崎池田中端石川	山中崎田川	奥田服山山小北田川永前川
信か人夫樹季英巳康晴	尚さや和久直知顕義健信	島瀬田本村山木原地	蓑能吉山西影真手周森	香子里之太博覚潤志幸子	美聡由可亮友永宏桂	場田木岡里田出本井谷	馬岸八平浅石角山周浅打	九二英一隆介二郎春子和	九憲華信陽徳幸敦敏由政	村藤藤片井津澤中保谷邊田	木加伊宗國木西田久金渡齊	一香子夫治二子善琴則	矢恭義賢啓浩一鳳善	早恭義賢啓浩一鳳善	野澤杵井村田川	宮堀安板平金臼藤木櫻小王小川

委員長
副委員長
委員

競技役員

(順不同・敬称略)

[illegible]



招 集 委 員	村 岡 良 幸	榎 本 憲 駿	藤 森 敏 一	宮 本 与司浩
	中 島 壽 直	山 本 潤		
記 録 委 員 長	山 賀 昌 司			
記 録 副 委 員 長	中 野 敬			
記 録 委 員	佐 治 健 二	真 木 顕 英	石 田 喜 久	手 原 義 巳
	大 橋 嘉 一	浅 居 宏 幸		
記 録 掲 示 主 任	結 城 和 子			
記 録 掲 示 委 員	藤 井 賢 治	舩 木 陽 子	中 西 智 美	
送 受 信 主 任	西 澤 德 二			
總 合 成 績 計 算 委 員 長	加 藤 憲 二			
總 合 成 績 計 算 副 委 員 長	南 吉 彦			
總 合 成 績 計 算 委 員	新 田 裕			
広 報 委 員 長	蓑 島 尚 信			
広 報 副 委 員 長	西 村 直 樹			
広 報 委 員	高 倉 啓 佑	小 鎗 貴 洋		
總 務 委 員 長	山 下 秀 文			
總 務 副 委 員 長	田 部 勝 介			
總 務 主 任	松 村 大 博			
總 務 委 員	伊 藤 大 康	松 尾 英 治	渡 邊 由美子	山 本 慶
庶 務 委 員 長	中 居 康 一			
庶 務 副 委 員 長	谷 澤 英 之			
式 典 委 員 長	木 村 啓 二			
式 典 副 委 員 長	大 川 広 海			
式 典 委 員	金 谷 敏 章	小 西 辰 也	落 合 孝 夫	木 村 英 幸
	奥 山 章			
渉 外 委 員 長	金 森 啓 哉			
渉 外 副 委 員 長	澤 田 知 哉			
渉 外 委 員	久 保 淳 子			
受 付 接 待 委 員 長	増 田 綾 子			
受 付 接 待 副 委 員 長	中 村 良 子			
受 付 接 待 主 任	関 口 正 美			
受 付 接 待 委 員	平 野 万美子	高 野 和 美	橋 爪 正 子	山 川 陽 子
	青 山 房 子	原 山 千佳子		

わたSHIGA輝く国スポ 2025

会場委員長	柴田 豊一				
会場副委員長	幸田 純				
会場委員	伊藤 博俊	木田 ひろみ	石田 知子	太田 浩子	
	赤堀 文英	仲間 智美			
練習会場委員長	西岡 博史				
練習会場委員	由良 木 慧	作永 里美	山村 智宏	臼杵 義夫	
	吉村 誠人	長谷川 徹	廣間 鉄治	浅井 唯	
競技用具委員長	安本 孝雄				
競技用具委員	浅井 桂子	大西 優	小宮 長茂	長村 農里	
	小川 一善	笹谷 悠真	小林 つきよ	渡邊 有希	



競技補助員

滋賀県立東大津高等学校

滋賀県立石山高等学校

滋賀県立瀬田工業高等学校

滋賀県立八幡高等学校

滋賀県立八幡商業高等学校

滋賀県立草津東高等学校

滋賀県立守山北高等学校

滋賀県立水口東高等学校

滋賀県立甲西高等学校

滋賀県立八日市高等学校

競技会係員

野洲市実施本部職員一同

競技会補助員

野洲市ボランティア一同

2 総 則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実 施 方 針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3 (初代・二代目)

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球



2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月6日（土） ～ 9 月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21日（日） ～ 9 月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23日（土） ～ 9 月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストラレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12日（土） ～ 9 月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第79回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023年開催の特別大会または第78回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023年開催の特別大会または第78回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] aおよびbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）



(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。



		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

- (4) 参加申込様式
参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 公開競技の参加申込
公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。
- (6) 選手の交代
参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。
- ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局
- イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
- ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局
- なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

- (2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。
- ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）
- イ 納 入 先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会



11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。



(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。



別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合



別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC オリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

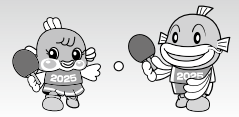
イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。



別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

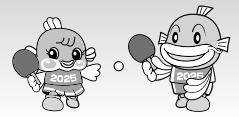
ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

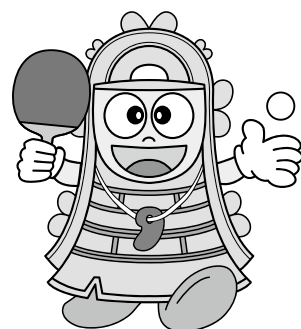
なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



《 MEMO 》



[17] 卓球競技

1 期 日 2025 年 9 月 28 日（日）から 10 月 2 日（木）まで（5 日間）

種 別	9月28日(日)	9月29日(月)	9月30日(火)	10月1日(水)	10月2日(木)
成年男子	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準々決勝	準 決 勝 決 勝
成年女子	1 次リーグ	1 次リーグ	1 次リーグ	1 次リーグ	準 決 勝 決 勝
少年男子		1 次リーグ	1 次リーグ	1 次リーグ	準 決 勝 決 勝
少年女子	1 次リーグ	1 次リーグ	1 次リーグ	1 次リーグ 準々決勝	準 決 勝 決 勝

2 会 場 野洲市 野洲市総合体育館

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計（人）
成年男子	1	3	47	188	460
成年女子	1	3	20	80	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	32	128	

※成年男子及び成年女子の監督は、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

(2) 試合方法

ア 成年男子は、トーナメント方式によって勝敗を決め、成年女子、少年男子及び少年女子は、1 次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。なお、1 次リーグ戦は、成年女子は各 5 チーム 4 グループ、少年男子は各 4 チーム 4 グループ、少年女子は各 4 チーム 8 グループに分け、各グループの 1 位チームが決勝トーナメントに進む。

イ 各種別ともに 3 名の選手からなる、5 シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手は C 又は Z のみの出場とする。

ABC チームは、1 - A、2 - B、3 - C、4 - A、5 - B

XYZ チームは、1 - X、2 - Y、3 - Z、4 - Y、5 - X とする。

ウ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球 40mm（白球）とする。

5 予選方法

(1) 都道府県大会

ア 都道府県大会は、公益財団法人日本卓球協会加盟の各都道府県協会（連盟）が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県スポーツ協会と協議して決定する。



イ 都道府県大会は、7月下旬までに終了すること。

(2) ブロック大会

ア ブロック大会を実施する種別は、成年女子、少年男子及び少年女子の3種別とする。成年男子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

イ ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて、実施後速やかに公益財団法人日本卓球協会に連絡する。

ウ ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

(3) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	4
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	2	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	3
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	1	3
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	4
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	3
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	3
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	2	5
開催県	滋賀	1	1	1
計		20	16	32

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるところによる。

なお、少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

監督は、公益財団法人日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認卓球コーチ2、公認卓球コーチ3、公認卓球コーチ4のいずれかを満たす者とする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも1位24点、2位21点、3位（2チーム）各16.5点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。

わたSHIGA輝く国スポ 2025

(2) 参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会での出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位（4チーム）までの都道府県に、賞状を授与する。なお、成年女子及び少年男子の種別については、1次リーグ各グループの2位チームを5位入賞とし、成年男子及び少年女子については、準々決勝で敗退したチームを5位入賞とする。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて2025年9月4日（木）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み選手が、不可抗力以外の理由により無断で本大会の出場を棄権した場合は、その後の本大会出場を停止する。
- (4) 参加申込み締切後の選手・監督変更は認めない。ただし、疾病、事故等特別な場合には、所定の文書と診断書などによる申し出を受け、審査の上決定する。申し出は、監督会議開始までとし、選手は参加申込書に記載された予備登録選手、監督は6参加資格に該当する者に限る。

所定の交代（変更）届の送付先は下記宛とし、イ・ウについては原則メールにて提出とする。なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、下記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階
公益財団法人日本卓球協会

TEL 03-6721-0921 FAX 03-6721-0931

イ 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

（滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係）

TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836

Email : kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

ウ 〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100番地1

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会事務局

（野洲市市民部国スポ・障スポ大会推進室）

TEL 077-587-8813 FAX 077-587-6961

Email : kokusupo@city.yasu.lg.jp



10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025 年 9 月 6 日（土） 午後 2 時
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒 160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
TEL 03-6721-0921 FAX 03-6721-0931

(2) 監督会議

日 時 2025 年 9 月 27 日（土） 午後 3 時
場 所 野洲市なかよし交流館 アリーナ
〒 520-2351 滋賀県野洲市富波甲 1339-24
TEL 077-587-6511 FAX 077-586-6511

(3) 表彰式

ア 成年男女・少年男女第 5 位表彰式

日 時 2025 年 10 月 1 日（水） 午後 5 時
場 所 野洲市総合体育館
〒 520-2351 滋賀県野洲市富波甲 1339
TEL 077-587-3477 FAX 077-587-3276

イ 成年男女・少年男女表彰式、総合表彰式

日 時 2025 年 10 月 2 日（木） 午後 3 時 30 分
場 所 野洲市総合体育館
〒 520-2351 滋賀県野洲市富波甲 1339
TEL 077-587-3477 FAX 077-587-3276

試合方法

1 試合方法

- 各種別とも3名の選手からなる5シングルス（ABC - XYZ方式）で行う。
- 各対戦（シングルス）は、11点先取の5ゲーム制（3ゲーム先取）で行われる。ただし、10対10になったときは、先に2点差を付けた方の勝ちとなる。
- 先に3勝したチームの勝ちとなる。

【ABC - XYZ方式】

	1番	2番	3番	4番	5番
ABC	A	B	C	A	B
XYZ	X	Y	Z	Y	X

※ 外国籍の選手は、C又はZのみの出場とする。

2 各種別の実施方法

- (1) 成年男子（47チーム）…全チームによるトーナメント戦を行う。
- (2) 成年女子（20チーム）…各5チーム4グループの1次リーグ戦ののち、各グループ1位のチームによる決勝トーナメントを行う。
- (3) 少年男子（16チーム）…各4チーム4グループの1次リーグ戦ののち、各グループ1位のチームによる決勝トーナメントを行う。
- (4) 少年女子（32チーム）…各4チーム8グループの1次リーグ戦ののち、各グループ1位のチームによる決勝トーナメントを行う。

※ 1次リーグ戦の試合順序は次のとおりとする。

【成年女子】（5チーム×4グループ）

	都道府県名	A県	B県	C県	D県	E県
a	A県					
b	B県	⑤				
c	C県	④	②			
d	D県	③	④	①		
e	E県	②	①	③	⑤	

【少年男子】（4チーム×4グループ）

	都道府県名	A県	B県	C県	D県
a	A県				
b	B県	⑤			
c	C県	③	①		
d	D県	①	②	④	

【少年女子】（4チーム×8グループ）

	都道府県名	A県	B県	C県	D県
a	A県				
b	B県	⑥			
c	C県	④	②		
d	D県	③	⑤	①	



総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、それぞれ次の表の対象種別の競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い順に、第1位から第8位までの都道府県を決定する。ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別 1 位 24 点 2 位 21 点 3 位(2 チーム) 各 16.5 点 5 位(4 チーム) 各 7.5 点

2 参加得点

- (1) 男女総合成績（天皇杯得点）と女子総合成績（皇后杯得点）のそれぞれで付与する。
- (2) 対象となる種別のブロック大会に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

競技上の注意

審判長 宮澤 和彦

令和7年6月1日一部改定の日本卓球ルールを適用して実施する。

競技者はスポーツマンシップに則り、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに正々堂々と競技を行ってください。

最近のルール改定のポイント

- ・ラケット本体に貼るラバーは、現在 ITTF または JTТА が公認しているものでなければならない。
- ・競技者は、それによって競技が遅れさえしなければラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- ・少年の部は従来通りとし、上記アドバイス改定ルールは適用されない。
- ・ラケットが使用に耐えられない程度に誤って破損した場合には、別のラケットと交換しなければならない。
- ・ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。

1 ボール、卓球台、ラケット、ラバー等について

- 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球40mm(白球)とする。使用球は事前に選球所でチームごとに3球(以内)選んで、選手集合所で主審に渡すこと。選球されていない場合や、選択したボールが破損等で使用できなくなった場合は主審の所持球を使用する。
- 希望するボールメーカーが違う場合、対戦ごとにジャンケンで決定する。試合中に破損等でボールを交換する必要がある場合は、同じメーカーのボールと交換する。
- 卓球台はブルー台を使用する。
- 外国製ラケットで JTТА が公認していないものを使用する場合には、あらかじめ試合開始60分前までに「ラケット使用許可願い」を審判長に提出し許可を受ける。
- ラバーは、ラケット本体より大きかったり、小さかったりしない。
- ゲーム中にラケットを誤って破損した場合は、スペアラケットか、プレー領域内で手渡されたものと交換し、すぐプレーをしなければならない。

ラケット検査に関する注意点について

- ・本大会ではラケットコントロールセンター(RCC)を設置する。RCCではラケットの平坦性、ラケット本体を覆うラバーの厚さ、ラバーの各層の厚みの均一性と連続性、有害な揮発性物質の存在等を含む全ての規定を守っているかどうかを検査される。通常、試合前検査となるが、競技者が試合前にラケットを提出しなかった場合や、試合中にラケットを誤って破損して取り替えた場合には、試合終了後に行われる。
- ・選手の責任において、揮発性有機溶剤を含んだ接着剤及びラバークリーナーなどを使用してはならない。またラバーの性能に変化・修正を加えず、公認された状態で使用する。
- ・ラバーの貼替えが必要な場合は、指定された場所で行う。
- ・選手は、ラケットの自主検査を受けることができる。
- ・試合前検査で不合格となったラケットは使用できない。別のラケットで試合を行うことになるが、もし試合前に時間がある場合にはすぐに検査してもよい。時間がなければ試合後に検査される。
- ・試合後検査で不合格だった場合、団体戦では該当選手の試合のみが負けとなる。

2 競技服装について

- 団体戦における競技用服装は、JTТА が公認した同じものを着用する。各チームは同色服装での対戦を避けるため、対戦ごとに色の異なった2種類以上のシャツを用意する。
- 競技用服装に、広告、企業名あるいは学校名のはいったものは認められない。
- 「サポーター、リストバンド、ヘアバンド、スパッツ」を着用する場合、メーカーの商標・ロゴはそれぞれ1ヶ所、(公財)日本卓球協会公認用具指定業者の広告のみが認められる。
- ゼッケンは所定のものをつける。

3 試合方法について

- 成年男子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年女子及び少年男子、少年女子は1次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。



- 試合は各種別とも、3名の選手からなる5シングルスで行う。ただし、外国籍の選手はCまたはZのみの出場とする。5ゲームマッチ、3ゲーム先取方法とする。

	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番
(A B C)	A	B	C	A	B
(X Y Z)	X	Y	Z	Y	X

- A B C、X Y Z の選択は、オーダー交換所でトスにより決定する。

4 アドバイス、タイムアウトについて

- 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、プレー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。アドバイスを与えることを認められた者であっても、違法にアドバイスをした場合、最初はイエローカードで警告、同じ団体戦では、2回目はチーム内の別人であっても、レッドカードで競技領域から遠ざけられる。
- 少年の部では、競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間のみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできない。アドバイスを与えることを認められた者であっても、この他の時間にアドバイスをした場合、最初はイエローカードで警告、同じ団体戦では、2回目はチーム内の別人であってもレッドカードで競技領域から遠ざけられる。
- 競技者または監督は、1試合を通じて1分以内の「タイムアウト」を1回要求することができる。
- タイムアウトの要求は、ゲーム中のラリーとラリーの間のみできる。その際、ベンチに用意されたカードを掲げるか、手で「T」の字を作って主審にその意思を示すものとする。
- タイムアウトの要求に関し、競技者と監督の意見が異なった場合、団体戦は監督の要求が優先される。

5 抗議について

- 団体戦では監督のみが抗議できるが、主審または副審等による事実の判定に対しては抗議できない。

6 バッドマナーについて

- 観客に不快感を与えるような行為（例えば、テーブル・ネット・フェンス等の器具を乱暴に扱う等）や、相手競技者に対して不当な影響を与える行為（例えば、大声で叫び汚い言葉を使う、相手選手を威嚇する、故意にボールを蹴ったり、競技領域外に打って出したりする行為等）は慎まなければならない。これらのバッドマナーは、警告及びペナルティーポイントの対象となる。
- ラリーでポイントが決定した後は、速やかに次のサービス体勢、あるいはレシーブ体勢をとり、みだりに時間を取ることなく、競技のスピードアップをはかる。直ちに行動に移さない場合や、規定のプレー中断時間が経過した時点で速やかに競技を再開しない場合には「遅延行為」としてバッドマナーの対象となる。
- バッドマナーと判断された場合、最初はイエローカードにより警告がなされるが、2回目以降は種類の異なるバッドマナーであっても、イエロー・レッドカードで相手に得点（1点、更に2点）が与えられる。その後もバッドマナーが続けば失格を含むペナルティーが科せられる。

7 横幕・応援旗について

- 競技場内に掲げる横幕は、国体協賛スポンサー及び出場チームの士気を鼓舞することを目的としたもののみ認められる。広告、企業名または学校名が入ったものは認められない。
- 旗、のぼり、ボード（板）等の応援用具の使用については、「国民スポーツ大会卓球競技（国スポ）における応援用具の使用について」の申し合わせ事項に定められたとおりとする。

8 その他

- 大会期間中ドーピングコントロール検査対象に選定された場合、検査を受けなければならない。
- オーダー交換所、選手集会所、試合コートへの入場は遅れないようにしてください。
- 進行の都合により、予定コートあるいは開始時刻を変更する場合があります。放送、掲示などに注意して行動してください。また、進行が遅れた場合は2台で競技を行うことがあります。ご協力をお願いいたします。
- カメラ、ビデオ撮影は、自チームの撮影用として1台が許可される。（「報道」として許可されたものを除く）
- 盗難防止のため、持ち物は各自責任を持って管理してください。

〔17〕卓球競技

競技日程

監督会議 9月27日(土) 15時00分 なかよし交流館 アリーナ

会場：野洲市総合体育館

第1日目 9月28日(日)	第2日目 9月29日(月)	第3日目 9月30日(火)	第4日目 10月1日(水)	第5日目 10月2日(木)
成年男子 1回戦 (2試合) 成年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	成年男子 2回戦 (4試合) 成年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	成年男子 3回戦 (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	少年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	成年男子 準決勝 (2試合) 成年女子 準決勝 (2試合) 少年男子 準決勝 (2試合) 少年女子 準決勝 (2試合) 9:00～11:30
成年男子 1回戦 (2試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 11:30～14:00	成年男子 2回戦 (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 11:30～14:00	成年男子 3回戦 (4試合) 成年女子 1次リーグ (8試合) 11:30～14:00	成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 1次リーグ (4試合) 11:30～14:00	
成年男子 1回戦 (11試合) 14:00～16:30	成年男子 2回戦 (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 14:00～16:30	少年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 1次リーグ (4試合) 14:00～16:30	成年男子 準々決勝 (4試合) 少年女子 準々決勝 (4試合) 少年男子 1次リーグ (4試合) 14:00～16:30	成年男子 決勝 (1試合) 成年女子 決勝 (1試合) 少年男子 決勝 (1試合) 少年女子 決勝 (1試合) 12:30～15:00
	成年男子 2回戦 (4試合) 少年男子 1次リーグ (8試合) 16:30～19:00	成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 1次リーグ (4試合) 16:30～19:00		
			成年男女 第5位表彰式 少年男女 第5位表彰式 17:00～17:30	成年男女 表彰式 少年男女 表彰式 総合表彰式 15:30～16:30

第5位表彰式	【成年男女・少年男女】	10月1日(水)	17時00分	野洲市総合体育館
表 彰 式	【成年男女・少年男女】	10月2日(木)	15時30分	野洲市総合体育館
総 合 表 彰 式		10月2日(木)	15時30分	野洲市総合体育館



卓球競技 組合せ表

【成年男子】

日程	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日			10月1日	9月30日	9月29日	9月28日	日程
都道府県名	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	3回戦	2回戦	1回戦	都道府県名
佐賀県 1												24 大分県
山形県 2		116 14:00								124 9:00		25 岐阜県
群馬県 3	101 9:00		132 9:00						136 11:30		108 14:00	26 宮城県
大阪府 4		117 14:00								109 14:00		27 京都府
鳥取県 5				140 14:00						125 9:00		28 富山県
埼玉県 6		118 14:00						142 14:00				29 千葉県
長野県 7	102 9:00		133 9:00							126 9:00		30 熊本県
愛媛県 8									137 11:30		110 14:00	31 山梨県
福岡県 9	103 11:30										111 14:00	32 広島県
奈良県 10		119 14:00								127 9:00		33 徳島県
三重県 11					144 9:00		145 9:00					34 北海道
高知県 12						146 12:30						35 兵庫県
沖縄県 13	104 11:30	120 11:30								128 16:30		36 青森県
新潟県 14			134 9:00						138 11:30		112 14:00	37 福井県
島根県 15	105 14:00										113 14:00	38 山口県
岩手県 16		121 11:30								129 16:30		39 静岡県
茨城県 17				141 14:00				143 14:00				40 神奈川県
石川県 18		122 11:30										41 長崎県
宮崎県 19	106 14:00								130 16:30		114 14:00	42 福島県
和歌山県 20			135 9:00									43 香川県
秋田県 21	107 14:00								139 11:30		115 14:00	44 鹿児島県
栃木県 22		123 11:30								131 16:30		45 滋賀県
愛知県 23												46 岡山県
												47 東京都

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。

卓球競技 組合せ表

【成年女子】

<1次リーグ>

(Aグループ)

都道府県名	a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a 青森県		233 -	225 -	217 -	209 -	-			
b 神奈川県	10/1 11:30		210 -	226 -	201 -	-			
c 兵庫県	9/30 16:30	9/29 9:00		202 -	218 -	-			
d 島根県	9/30 11:30	9/30 16:30	9/28 9:00		234 -	-			
e 宮崎県	9/29 9:00	9/28 9:00	9/30 11:30	10/1 11:30		-			

(Bグループ)

都道府県名	a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a 静岡県		235 -	227 -	219 -	211 -	-			
b 香川県	10/1 11:30		212 -	228 -	203 -	-			
c 北海道	9/30 16:30	9/29 9:00		204 -	220 -	-			
d 奈良県	9/30 11:30	9/30 16:30	9/28 9:00		236 -	-			
e 長野県	9/29 9:00	9/28 9:00	9/30 11:30	10/1 11:30		-			

(Cグループ)

都道府県名	a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a 埼玉県		237 -	229 -	221 -	213 -	-			
b 広島県	10/1 11:30		214 -	230 -	205 -	-			
c 熊本県	9/30 16:30	9/29 9:00		206 -	222 -	-			
d 愛知県	9/30 11:30	9/30 16:30	9/28 9:00		238 -	-			
e 石川県	9/29 9:00	9/28 9:00	9/30 11:30	10/1 11:30		-			

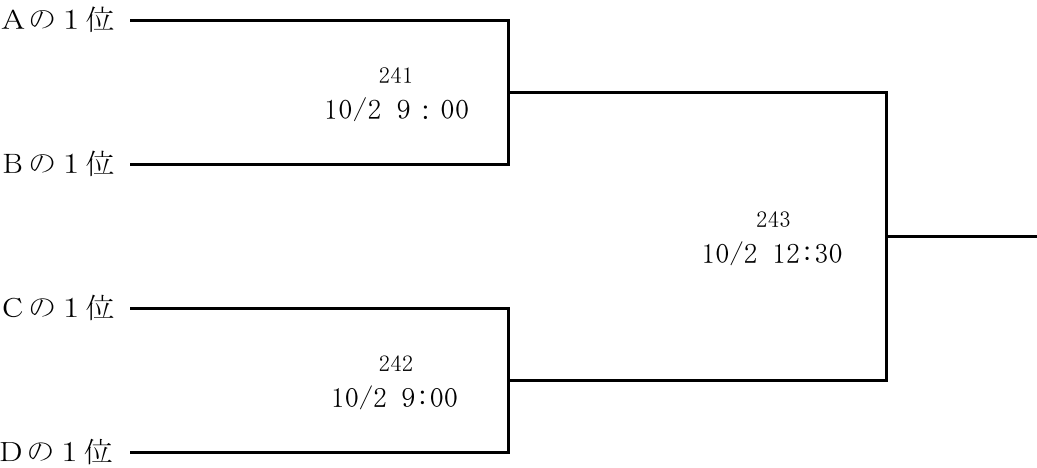
(Dグループ)

都道府県名	a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a 東京都		239 -	231 -	223 -	215 -	-			
b 福岡県	10/1 11:30		216 -	232 -	207 -	-			
c 愛媛県	9/30 16:30	9/29 9:00		208 -	224 -	-			
d 山形県	9/30 11:30	9/30 16:30	9/28 9:00		240 -	-			
e 滋賀県	9/29 9:00	9/28 9:00	9/30 11:30	10/1 11:30		-			

<決勝トーナメント>

準決勝

決勝



※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。



卓球競技 組合せ表

【少年男子】

<1次リーグ>

(Aグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 愛知県		321 -	313 -	301 -	-			
b 東京都	10/1 14:00		302 -	309 -	-			
c 滋賀県	9/30 16:30	9/29 16:30		317 -	-			
d 岩手県	9/29 16:30	9/30 14:00	10/1 11:30		-			

(Bグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 兵庫県		322 -	314 -	303 -	-			
b 石川県	10/1 14:00		304 -	310 -	-			
c 島根県	9/30 16:30	9/29 16:30		318 -	-			
d 福岡県	9/29 16:30	9/30 14:00	10/1 11:30		-			

(Cグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 神奈川県		323 -	315 -	305 -	-			
b 大阪府	10/1 14:00		306 -	311 -	-			
c 新潟県	9/30 16:30	9/29 16:30		319 -	-			
d 山形県	9/29 16:30	9/30 14:00	10/1 11:30		-			

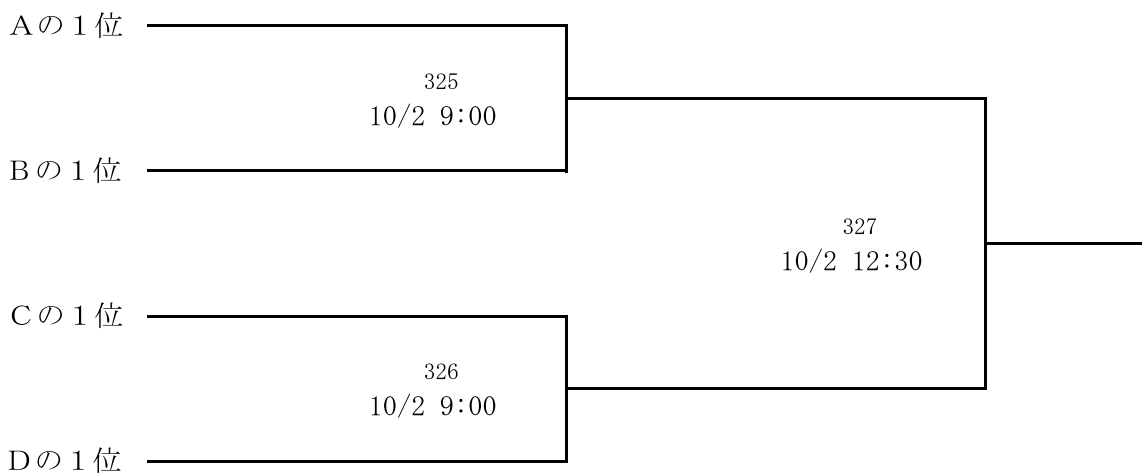
(Dグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 山口県		324 -	316 -	307 -	-			
b 北海道	10/1 14:00		308 -	312 -	-			
c 大分県	9/30 16:30	9/29 16:30		320 -	-			
d 高知県	9/29 16:30	9/30 14:00	10/1 11:30		-			

<決勝トーナメント>

準決勝

決勝



※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。

卓球競技 組合せ表

【少年女子】

<1次リーグ>

(Aグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 大阪府		441 -	425 -	417 -	-			
b 宮城県	10/1 9:00		409 -	433 -	-			
c 鳥取県	9/30 9:00	9/29 11:30		401 -	-			
d 大分県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Bグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 新潟県		442 -	426 -	418 -	-			
b 佐賀県	10/1 9:00		410 -	434 -	-			
c 香川県	9/30 9:00	9/29 11:30		402 -	-			
d 埼玉県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Cグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 神奈川県		443 -	427 -	419 -	-			
b 静岡県	10/1 9:00		411 -	435 -	-			
c 青森県	9/30 9:00	9/29 11:30		403 -	-			
d 熊本県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Dグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 岡山県		444 -	428 -	420 -	-			
b 福井県	10/1 9:00		412 -	436 -	-			
c 群馬県	9/30 9:00	9/29 11:30		404 -	-			
d 和歌山県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Eグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 高知県		445 -	429 -	421 -	-			
b 福島県	10/1 9:00		413 -	437 -	-			
c 東京都	9/30 9:00	9/29 11:30		405 -	-			
d 北海道	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Fグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 島根県		446 -	430 -	422 -	-			
b 福岡県	10/1 9:00		414 -	438 -	-			
c 京都府	9/30 9:00	9/29 11:30		406 -	-			
d 三重県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

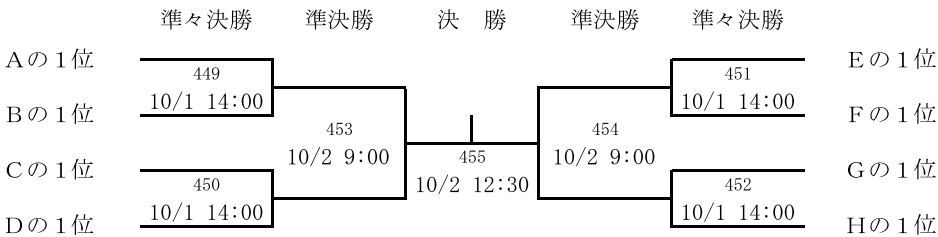
(Gグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 石川県		447 -	431 -	423 -	-			
b 秋田県	10/1 9:00		415 -	439 -	-			
c 千葉県	9/30 9:00	9/29 11:30		407 -	-			
d 滋賀県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

(Hグループ)

都道府県名	a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a 愛知県		448 -	432 -	424 -	-			
b 兵庫県	10/1 9:00		416 -	440 -	-			
c 宮崎県	9/30 9:00	9/29 11:30		408 -	-			
d 愛媛県	9/29 14:00	9/30 14:00	9/28 11:30		-			

<決勝トーナメント>



※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。



競技タイムテーブル

< 9月28日(日) >

第1試合 9:00~11:30

本 部 席	1コート 101 成年男子 1回戦 山形県 — 群馬県	8コート 204 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 北海道 — 奈良県
	2コート 予備コート	9コート 予備コート
	3コート 102 成年男子 1回戦 長野県 — 愛媛県	10コート 205 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 広島県 — 石川県
	4コート 201 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 神奈川県 — 宮崎県	11コート 206 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 熊本県 — 愛知県
	5コート 202 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 兵庫県 — 島根県	12コート 207 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 福岡県 — 滋賀県
	6コート 予備コート	13コート 予備コート
	7コート 203 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 香川県 — 長野県	14コート 208 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 愛媛県 — 山形県

第2試合 11:30~14:00

本 部 席	1コート 401 少年女子 1次リーグ (Aグループ) 鳥取県 — 大分県	8コート 406 少年女子 1次リーグ (Fグループ) 京都府 — 三重県
	2コート 予備コート	9コート 予備コート
	3コート 402 少年女子 1次リーグ (Bグループ) 香川県 — 埼玉県	10コート 407 少年女子 1次リーグ (Gグループ) 千葉県 — 滋賀県
	4コート 403 少年女子 1次リーグ (Cグループ) 青森県 — 熊本県	11コート 408 少年女子 1次リーグ (Hグループ) 宮崎県 — 愛媛県
	5コート 404 少年女子 1次リーグ (Dグループ) 群馬県 — 和歌山県	12コート 103 成年男子 1回戦 福岡県 — 奈良県
	6コート 予備コート	13コート 予備コート
	7コート 405 少年女子 1次リーグ (Eグループ) 東京都 — 北海道	14コート 104 成年男子 1回戦 沖縄県 — 新潟県

第3試合 14:00~16:30

本 部 席	1コート 105 成年男子 1回戦 島根県 — 岩手県	8コート 111 成年男子 1回戦 徳島県 — 北海道
	2コート 106 成年男子 1回戦 宮崎県 — 和歌山県	9コート 予備コート
	3コート 107 成年男子 1回戦 秋田県 — 栃木県	10コート 112 成年男子 1回戦 福井県 — 山口県
	4コート 108 成年男子 1回戦 岐阜県 — 宮城県	11コート 113 成年男子 1回戦 静岡県 — 神奈川県
	5コート 109 成年男子 1回戦 京都府 — 富山県	12コート 114 成年男子 1回戦 香川県 — 鹿児島県
	6コート 予備コート	13コート 予備コート
	7コート 110 成年男子 1回戦 山梨県 — 広島県	14コート 115 成年男子 1回戦 滋賀県 — 岡山県

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。

競技タイムテーブル

< 9月29日(月) >

第1試合 9：00～11：30

本 部 席	1コート 124 成年男子 2回戦 大分県 — 108の勝者	8コート 211 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 静岡県 — 長野県
	2コート 125 成年男子 2回戦 109の勝者 — 千葉県	9コート 212 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 香川県 — 北海道
	3コート 126 成年男子 2回戦 熊本県 — 110の勝者	10コート 予備コート
	4コート 127 成年男子 2回戦 111の勝者 — 兵庫県	11コート 213 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 埼玉県 — 石川県
	5コート 予備コート	12コート 214 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 広島県 — 熊本県
	6コート 209 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 青森県 — 宮崎県	13コート 215 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 東京都 — 滋賀県
	7コート 210 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 神奈川県 — 兵庫県	14コート 216 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 福岡県 — 愛媛県

第2試合 11：30～14：00

本 部 席	1コート 409 少年女子 1次リーグ (Aグループ) 宮城県 — 鳥取県	8コート 415 少年女子 1次リーグ (Gグループ) 秋田県 — 千葉県
	2コート 410 少年女子 1次リーグ (Bグループ) 佐賀県 — 香川県	9コート 416 少年女子 1次リーグ (Hグループ) 兵庫県 — 宮崎県
	3コート 411 少年女子 1次リーグ (Cグループ) 静岡県 — 青森県	10コート 予備コート
	4コート 412 少年女子 1次リーグ (Dグループ) 福井県 — 群馬県	11コート 120 成年男子 2回戦 高知県 — 104の勝者
	5コート 予備コート	12コート 121 成年男子 2回戦 105の勝者 — 茨城県
	6コート 413 少年女子 1次リーグ (Eグループ) 福島県 — 東京都	13コート 122 成年男子 2回戦 石川県 — 106の勝者
	7コート 414 少年女子 1次リーグ (Fグループ) 福岡県 — 京都府	14コート 123 成年男子 2回戦 107の勝者 — 愛知県

第3試合 14：00～16：30

本 部 席	1コート 417 少年女子 1次リーグ (Aグループ) 大阪府 — 大分県	8コート 423 少年女子 1次リーグ (Gグループ) 石川県 — 滋賀県
	2コート 418 少年女子 1次リーグ (Bグループ) 新潟県 — 埼玉県	9コート 424 少年女子 1次リーグ (Hグループ) 愛知県 — 愛媛県
	3コート 419 少年女子 1次リーグ (Cグループ) 神奈川県 — 熊本県	10コート 予備コート
	4コート 420 少年女子 1次リーグ (Dグループ) 岡山県 — 和歌山県	11コート 116 成年男子 2回戦 佐賀県 — 101の勝者
	5コート 予備コート	12コート 117 成年男子 2回戦 大阪府 — 鳥取県
	6コート 421 少年女子 1次リーグ (Eグループ) 高知県 — 北海道	13コート 118 成年男子 2回戦 埼玉県 — 102の勝者
	7コート 422 少年女子 1次リーグ (Fグループ) 島根県 — 三重県	14コート 119 成年男子 2回戦 103の勝者 — 三重県

第4試合 16：30～19：00

本 部 席	1コート 301 少年男子 1次リーグ (Aグループ) 愛知県 — 岩手県	8コート 307 少年男子 1次リーグ (Dグループ) 山口県 — 高知県
	2コート 302 少年男子 1次リーグ (Aグループ) 東京都 — 滋賀県	9コート 308 少年男子 1次リーグ (Dグループ) 北海道 — 大分県
	3コート 303 少年男子 1次リーグ (Bグループ) 兵庫県 — 福岡県	10コート 予備コート
	4コート 304 少年男子 1次リーグ (Bグループ) 石川県 — 島根県	11コート 128 成年男子 2回戦 青森県 — 112の勝者
	5コート 予備コート	12コート 129 成年男子 2回戦 113の勝者 — 長崎県
	6コート 305 少年男子 1次リーグ (Cグループ) 神奈川県 — 山形県	13コート 130 成年男子 2回戦 福島県 — 114の勝者
	7コート 306 少年男子 1次リーグ (Cグループ) 大阪府 — 新潟県	14コート 131 成年男子 2回戦 115の勝者 — 東京都

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。



競技タイムテーブル

< 9月30日(火) >

第1試合 9:00~11:30

本 部 席	1コート 132 成年男子 3回戦 116の勝者 — 117の勝者	8コート 427 少年女子 1次リーグ (Cグループ) 神奈川県 — 青森県
	2コート 133 成年男子 3回戦 118の勝者 — 119の勝者	9コート 428 少年女子 1次リーグ (Dグループ) 岡山県 — 群馬県
	3コート 134 成年男子 3回戦 120の勝者 — 121の勝者	10コート 予備コート
	4コート 135 成年男子 3回戦 122の勝者 — 123の勝者	11コート 429 少年女子 1次リーグ (Eグループ) 高知県 — 東京都
	5コート 予備コート	12コート 430 少年女子 1次リーグ (Fグループ) 島根県 — 京都府
	6コート 425 少年女子 1次リーグ (Aグループ) 大阪府 — 鳥取県	13コート 431 少年女子 1次リーグ (Gグループ) 石川県 — 千葉県
	7コート 426 少年女子 1次リーグ (Bグループ) 新潟県 — 香川県	14コート 432 少年女子 1次リーグ (Hグループ) 愛知県 — 宮崎県

第2試合 11:30~14:00

本 部 席	1コート 136 成年男子 3回戦 124の勝者 — 125の勝者	8コート 219 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 静岡県 — 奈良県
	2コート 137 成年男子 3回戦 126の勝者 — 127の勝者	9コート 220 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 北海道 — 長野県
	3コート 138 成年男子 3回戦 128の勝者 — 129の勝者	10コート 予備コート
	4コート 139 成年男子 3回戦 130の勝者 — 131の勝者	11コート 221 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 埼玉県 — 愛知県
	5コート 予備コート	12コート 222 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 熊本県 — 石川県
	6コート 217 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 青森県 — 島根県	13コート 223 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 東京都 — 山形県
	7コート 218 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 兵庫県 — 宮崎県	14コート 224 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 愛媛県 — 滋賀県

第3試合 14:00~16:30

本 部 席	1コート 309 少年男子 1次リーグ (Aグループ) 東京都 — 岩手県	8コート 435 少年女子 1次リーグ (Cグループ) 静岡県 — 熊本県
	2コート 310 少年男子 1次リーグ (Bグループ) 石川県 — 福岡県	9コート 436 少年女子 1次リーグ (Dグループ) 福井県 — 和歌山県
	3コート 311 少年男子 1次リーグ (Cグループ) 大阪府 — 山形県	10コート 予備コート
	4コート 312 少年男子 1次リーグ (Dグループ) 北海道 — 高知県	11コート 437 少年女子 1次リーグ (Eグループ) 福島県 — 北海道
	5コート 予備コート	12コート 438 少年女子 1次リーグ (Fグループ) 福岡県 — 三重県
	6コート 433 少年女子 1次リーグ (Aグループ) 宮城県 — 大分県	13コート 439 少年女子 1次リーグ (Gグループ) 秋田県 — 滋賀県
	7コート 434 少年女子 1次リーグ (Bグループ) 佐賀県 — 埼玉県	14コート 440 少年女子 1次リーグ (Hグループ) 兵庫県 — 愛媛県

第4試合 16:30~19:00

本 部 席	1コート 313 少年男子 1次リーグ (Aグループ) 愛知県 — 滋賀県	8コート 227 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 静岡県 — 北海道
	2コート 314 少年男子 1次リーグ (Bグループ) 兵庫県 — 島根県	9コート 228 成年女子 1次リーグ (Bグループ) 香川県 — 奈良県
	3コート 315 少年男子 1次リーグ (Cグループ) 神奈川県 — 新潟県	10コート 予備コート
	4コート 316 少年男子 1次リーグ (Dグループ) 山口県 — 大分県	11コート 229 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 埼玉県 — 熊本県
	5コート 予備コート	12コート 230 成年女子 1次リーグ (Cグループ) 広島県 — 愛知県
	6コート 225 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 青森県 — 兵庫県	13コート 231 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 東京都 — 愛媛県
	7コート 226 成年女子 1次リーグ (Aグループ) 神奈川県 — 島根県	14コート 232 成年女子 1次リーグ (Dグループ) 福岡県 — 山形県

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。

競技タイムテーブル

<10月1日(水)>

第1試合 9：00～11：30

本 部 席	1コート	8コート
	予備コート	予備コート
	2コート 441	9コート 445
	少年女子 1次リーグ (Aグループ)	少年女子 1次リーグ (Eグループ)
	大阪府 — 宮城県	高知県 — 福島県
	3コート 442	10コート 446
	少年女子 1次リーグ (Bグループ)	少年女子 1次リーグ (Fグループ)
	新潟県 — 佐賀県	島根県 — 福岡県
本 部 席	4コート	11コート
	予備コート	予備コート
	5コート 443	12コート 447
	少年女子 1次リーグ (Cグループ)	少年女子 1次リーグ (Gグループ)
	神奈川県 — 静岡県	石川県 — 秋田県
	6コート 444	13コート 448
	少年女子 1次リーグ (Dグループ)	少年女子 1次リーグ (Hグループ)
	岡山県 — 福井県	愛知県 — 兵庫県
本 部 席	7コート	14コート
	予備コート	予備コート

第2試合 11：30～14：00

本 部 席	1コート 317	8コート 235
	少年男子 1次リーグ (Aグループ)	成年女子 1次リーグ (Bグループ)
	滋賀県 — 岩手県	静岡県 — 香川県
	2コート 318	9コート 236
	少年男子 1次リーグ (Bグループ)	成年女子 1次リーグ (Bグループ)
	島根県 — 福岡県	奈良県 — 長野県
	3コート 319	10コート
	少年男子 1次リーグ (Cグループ)	予備コート
本 部 席	4コート 320	11コート 237
	少年男子 1次リーグ (Dグループ)	成年女子 1次リーグ (Cグループ)
	大分県 — 高知県	埼玉県 — 広島県
	5コート	12コート 238
	予備コート	成年女子 1次リーグ (Cグループ)
	6コート 233	13コート 239
	成年女子 1次リーグ (Aグループ)	成年女子 1次リーグ (Dグループ)
	青森県 — 神奈川県	東京都 — 福岡県
本 部 席	7コート 234	14コート 240
	成年女子 1次リーグ (Aグループ)	成年女子 1次リーグ (Dグループ)
	島根県 — 宮崎県	山形県 — 滋賀県

第3試合 14：00～16：30

本 部 席	1コート 321	8コート 451
	少年男子 1次リーグ (Aグループ)	少年女子 準々決勝
	愛知県 — 東京都	Eの1位 — Fの1位
	2コート 322	9コート 452
	少年男子 1次リーグ (Bグループ)	少年女子 準々決勝
	兵庫県 — 石川県	Gの1位 — Hの1位
	3コート 323	10コート
	少年男子 1次リーグ (Cグループ)	予備コート
本 部 席	4コート 324	11コート 140
	少年男子 1次リーグ (Dグループ)	成年男子 準々決勝
	山口県 — 北海道	132の勝者 — 133の勝者
	5コート	12コート 141
	予備コート	成年男子 準々決勝
	6コート 449	134の勝者 — 135の勝者
	少年女子 準々決勝	13コート 142
	Aの1位 — Bの1位	成年男子 準々決勝
本 部 席	7コート 450	136の勝者 — 137の勝者
	少年女子 準々決勝	14コート 143
	Cの1位 — Dの1位	成年男子 準々決勝
		138の勝者 — 139の勝者

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。



競技タイムテーブル

<10月2日(木)>

第1試合 9:00~11:30

本部席	1コート 予備コート	8コート 予備コート
	2コート 453 少年女子 準決勝	9コート 144 成年男子 準決勝
	449の勝者 — 450の勝者	140の勝者 — 141の勝者
	3コート 454 少年女子 準決勝	10コート 145 成年男子 準決勝
	451の勝者 — 452の勝者	142の勝者 — 143の勝者
	4コート 予備コート	11コート 予備コート
	5コート 325 少年男子 準決勝	12コート 241 成年女子 準決勝
	Aの1位 — Bの1位	Aの1位 — Bの1位
	6コート 326 少年男子 準決勝	13コート 242 成年女子 準決勝
	Cの1位 — Dの1位	Cの1位 — Dの1位
	7コート 予備コート	14コート 予備コート

第2試合 12:30~15:00

本部席	1コート 予備コート	8コート 予備コート
	2コート 予備コート	9コート 予備コート
	3コート 455 少年女子 決勝	10コート 146 成年男子 決勝
	453の勝者 — 454の勝者	144の勝者 — 145の勝者
	4コート 予備コート	11コート 予備コート
	5コート 327 少年男子 決勝	12コート 243 成年女子 決勝
	325の勝者 — 326の勝者	241の勝者 — 242の勝者
	6コート 予備コート	13コート 予備コート
	7コート 予備コート	14コート 予備コート

表彰式 15:30~16:30

※ 試合の進行状況等により、変更になる場合があります。

競技の見方

【卓球競技について】

1. 卓球の起源

1880年代、イギリスの貴族たちが、ローンテニス（芝のコートで行うテニス）ができない雨の日に、テニスラケットの改良型や葉巻箱のふたなどを使って、ダイニングテーブルでコルクボールを使って楽しんだのが「卓球の原型」と言われている。

1890年代になると『ゴシマ』という名前でラケット、ボール、ネットのセットで販売された。ラケットは羊の皮が張られた中空の『バトルドア』ラケットであった。

1900年、イングランドのジェームズ・ギブという人がアメリカへ渡った時におもちゃのセルロイドボールを見つけ、持ち帰り、ゴムボールや糸巻きのコルクボールの代わりに使われるようになった。そのセルロイドボールが台上で弾んだときに「ピン」、バトルドアで打った時に「ボン」という音がしたために、「ピンボン」と呼ばれるようになった。

2. 得点、試合の流れ等

(1) 得点について

サービス（1球目）は自分のコートに1回、相手コートに1回バウンドさせれば成功（ボールがネットに触れて相手コートに入ったらやり直し）。

2球目以降、相手が打ったボールが自分のコートに1回バウンドした後、相手コートにバウンドさせるように打ち返せば、返球（リターン）成功。以後、互いに返球を繰り返す。返球に失敗すると相手に1点が入る。

(2) 勝敗について

卓球の試合は、1試合（1マッチ）5ゲーム又は7ゲームで行われる（国スポは5ゲーム）。その過半数のゲームを先取した選手が勝ちとなる。1ゲームの勝敗は11ポイントを取ると勝ちとなるが、両方の得点が10対10になった場合は、2ポイント差をつけた方が勝ちとなる。

(3) 試合の進め方

試合前には2分以内の試打を行うことができる。その後、サービスかレシーブかエンド（コート）を選ぶためにコイントス又はジャンケンを行い、勝者が何れかを選択し一方はそれ以外を選択する。

サービスは、2ポイントごとに交替で行う。ただし、両方が10対10になった場合は、1ポイント交替となる。

1ゲームごとに両選手はエンドを交替し、試合の勝敗を決定する最終ゲームは、どちらかの選手が5ポイントを取ったときにチェンジエンド（エンドを交代）を行う。

(4) 休憩等について

各ゲームの開始から6ポイントごと（＝両選手の点数の合計が6の倍数の時）、および最終ゲームのチェンジエンド時にタオル使用のため短い休憩が認められる。

各ゲーム間には、1分以内の休憩が入る。この時間には、ベンチでアドバイスを受けたり水分補給したりすることができる。

また、各競技者は1試合に1回、1分以内の「タイムアウト」（休憩）をとることができ、ベンチコーチからアドバイスを受けることができる。

3. ルールについて（一部）

(1) サービス

サービスでは、まずラケットを持っていない方の手のひらの上にボールを置いて静止させる。続いて、ボールを回転させることなく、ほぼ垂直に16cm以上トスし、ボールが落ちてくる途中で打球する。トス直後から打つ瞬間まで、相手（レシーバー）にボールをはっきり見せる必要がある。体や衣服などでボールを隠してはいけない。

(2) 促進ルール

各ゲーム開始後、10分経ってもそのゲームが終了しない場合、「促進ルール」が適用される（両者スコアの合計が18以上の時は適用されない）。促進ルールでは1回のラリーでの打球数に制限が設けられ、レシーバー（サービスを受ける選手）が13回返球すると、自動的にレシーバーのポイントになる。サービスも1本交替に変更となる。

(3) ネットイン、エッジ、フリーハンドの取扱い

打ったボールがネット（またはネットを支える支柱）に触れて、相手コートに入った場合を「ネットイン」と呼ぶ。ネットインした場合は正しいリターン（返球）となり、そのままラリーが続く。ただし、サービスがネットインした場合は、ノーカウントでやり直しになる。

打ったボールが台の角、ふち（エッジ）に当たった場合を「エッジボール」と言い、正しいリターンとなる。ただし、ボールがサイド（側面）に当たった場合は失点となる。

フリーハンド（ラケットを持たない方の手首から先）がラリー中に台上に触れると失点となるが、それ以外の体の一部（肘や胴など）が台上に触れても、台を動かさない限り問題にはならない。ただし、ネットや支柱に体の一部やラケットに触れると失点となる。

わたSHIGA輝く国スポ 2025

都道府県名	1 S	2 S	3 S	4 S	5 S	勝数

都道府県名	1 S	2 S	3 S	4 S	5 S	勝数

都道府県名	1 S	2 S	3 S	4 S	5 S	勝数

都道府県名	1 S	2 S	3 S	4 S	5 S	勝数



男女総合・女子総合成績一覧表

種別 順位 得点 都道府県名				成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合 (天皇杯)					女子総合 (皇后杯)				
				順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	合計	競技得点	参加得点	合計	総合順位	合計	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																				
2	青森県																				
3	岩手県																				
4	宮城県																				
5	秋田県																				
6	山形県																				
7	福島県																				
8	茨城県																				
9	栃木県																				
10	群馬県																				
11	埼玉県																				
12	千葉県																				
13	東京都																				
14	神奈川県																				
15	山梨県																				
16	新潟県																				
17	長野県																				
18	富山県																				
19	石川県																				
20	福井県																				
21	静岡県																				
22	愛知県																				
23	三重県																				
24	岐阜県																				
25	滋賀県																				
26	京都府																				
27	大阪府																				
28	兵庫県																				
29	奈良県																				
30	和歌山県																				
31	鳥取県																				
32	島根県																				
33	岡山県																				
34	広島県																				
35	山口県																				
36	香川県																				
37	徳島県																				
38	愛媛県																				
39	高知県																				
40	福岡県																				
41	佐賀県																				
42	長崎県																				
43	熊本県																				
44	大分県																				
45	宮崎県																				
46	鹿児島県																				
47	沖縄県																				

各種別ブロック代表一覧表

種別 ブロック	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県	青森県 森形県	岩手県 手形県	青森県 森城田島 宮城県 秋福県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県	埼玉県 玉京奈川 東京都	東京都 京奈川 東神	群馬県 馬玉葉京奈川 東京都
北信越	新潟県 長野県 富山県 石川県 福井県	長野県 野川県	新潟県 潟川県	新潟県 潟川井 福井県
東海	静岡県 愛知県 三重県	静岡県 岡知県	愛知県	静岡県 岡知重 三重県
近畿	京都市 大阪府 奈良県 和歌山県	兵奈県 庫良県	大阪府 阪庫府	京都市 都府府 大阪府 阪庫山
中国	広島県 岡山県 山口県	広島県 根島県	広島県 根口県	広島県 取根山 岡山県
四国	香川県 徳島県 愛媛県 高知県	香愛県 川媛県	高知県	香愛高 川媛知 県
九州	福岡県 佐賀県 長門県 熊本市 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	福岡県 岡本崎 県	福岡県 岡分 県	福岡県 岡賀本分崎 県
開催地	滋賀県	滋賀県	滋賀県	滋賀県
合計	47	20	16	32



参加申込人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合 計			総計
			監督		選手	監督		選手	監督	選手	監督	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
北	1	北海道	1	()	3	1	()	3	1	3	1	3	4	()	12	16
東北	2	青森県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	3	岩手県	1	()	3				1	3			2	()	6	8
	4	宮城県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	5	秋田県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	6	山形県	1	()	3	1		3	1	3			3	()	9	12
	7	福島県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
関東	8	茨城県	1	()	3								1	()	3	4
	9	栃木県	1	()	3								1	()	3	4
	10	群馬県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	11	埼玉県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	12	千葉県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	13	東京都	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	14	神奈川県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	15	山梨県	1	()	3								1	()	3	4
北信越	16	新潟県	1	()	3				1	3	1	3	3	()	9	12
	17	長野県	1	()	3	1		3					2	()	6	8
	18	富山県	1	()	3								1	()	3	4
	19	石川県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	20	福井県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
東海	21	静岡県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	22	愛知県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	23	三重県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	24	岐阜県	1	()	3								1	()	3	4
近畿	25	滋賀県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	26	京都府	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	27	大阪府	1	()	3				1	3	1	3	3	()	9	12
	28	兵庫県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	29	奈良県	1	()	3	1		3					2	()	6	8
	30	和歌山県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
中国	31	鳥取県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	32	島根県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	33	岡山県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	34	広島県	1	()	3	1		3					2	()	6	8
	35	山口県	1	()	3				1	3			2	()	6	8
四国	36	香川県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	37	徳島県	1	()	3								1	()	3	4
	38	愛媛県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	39	高知県	1	()	3				1	3	1	3	3	()	9	12
九州	40	福岡県	1	()	3	1		3	1	3	1	3	4	()	12	16
	41	佐賀県	1	()	3						1	3	2	()	6	8
	42	長崎県	1	()	3								1	()	3	4
	43	熊本県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	44	大分県	1	()	3				1	3	1	3	3	()	9	12
	45	宮崎県	1	()	3	1		3			1	3	3	()	9	12
	46	鹿児島県	1	()	3								1	()	3	4
	47	沖縄県	1	()	3								1	()	3	4
合 計			47	()	141	20	()	60	16	48	32	96	115	()	345	460

参加選手一覧表
成年男子（47チーム）

101 北海道			102 青森県		
監 督	井 上 大 介	北海道科学大学高等学校(教)	監 督	小 中 喜 貴	青森県立弘前実業高等学校(教)
選手 101	門 脇 康 太	専修大学	選手 105	神 巧 也	ファースト
選手 102	宮 本 大 輝	日本ルクソールシステム㈱	選手 106	高木和 卓	ファースト
選手 103	小 松 隼 大	北海道旅客鉄道(株)	選手 107	及 川 瑞 基	岡山リベッツ
予備登録選手 104	福 澤 勇 太	アルテミス北海道	予備登録選手 108	藤 田 遼 也	日本大学
103 岩手県			104 宮城県		
監 督	野 田 享 平	洋野町役場	監 督	佐 々 充	東北学院高等学校(教)
選手 109	吉 田 俊 暢	関西卓球アカデミー	選手 113	浅 利 大 晴	Infinity
選手 110	大 場 隆 也	法政大学	選手 114	伊 藤 颯	東北学院大学
選手 111	佐 藤 颯 太	八戸工業大学	選手 115	津 田 智 貴	アルプスアルパイン株式会社
予備登録選手 112	多 田 啓 佑	國學院大學	予備登録選手 116	佐 藤 泰 史	卓球ワンジ NOA
105 秋田県			106 山形県		
監 督	三 浦 州	秋田令和高等学校(教)	監 督	佐々木 剛	山形県教育センター
選手 117	佐 藤 汰 一	秋田市役所	選手 121	芳 賀 世 蓮	日本大学
選手 118	榎 海 登	東洋大学	選手 122	高 山 卓 彦	日本体育大学
選手 119	小田島 拓 翔	駒澤大学	選手 123	梅 木 大 智	明治大学
予備登録選手 120	野 村 順 成	慶応義塾大学	予備登録選手 124	熊 谷 楓 希	日本体育大学
107 福島県			108 茨城県		
監 督	木 村 哲 也	福島県立二本松実業高等学校(教)	監 督	中 川 清	茨城県立下館第二高等学校(教)
選手 125	佐 藤 匠 海	関西学院大学	選手 129	鈴 木 笙	筑波大学
選手 126	岩 永 宗 久	法政大学	選手 130	井 田 啓 太	國學院大學
選手 127	高 橋 航太郎	明治大学	選手 131	寶 金 侑 作	株式会社日立製作所日立事業所
予備登録選手 128	高 橋 隼 人	北芝電機株式会社	予備登録選手 132	大 貫 尚 也	東洋大学
109 栃木県			110 群馬県		
監 督	鈴 木 俊 光	(株)栃木銀行	監 督	柳 沢 邦 治	鶴谷病院
選手 133	柳 沢 瑠 玖	東洋大学	選手 137	青 木 郁 也	JR東日本高崎
選手 134	續 橋 秀 人	朝日大学	選手 138	後 藤 稜 弥	駒澤大学
選手 135	加 藤 涉	駒澤大学	選手 139	関 谷 樹	T.T.M
予備登録選手 136	大久保 樹	新潟大学	予備登録選手 140	後 藤 嘉 希	國學院大学



111 埼玉県			112 千葉県		
監 督	兼 吉 道 策	埼玉工業大学(職)	監 督	松 崎 達 也	東京学館浦安高等学校
選手 141	岩井田 雄 斗	法政大学	選手 145	時 吉 佑 樹	流山アストロズ
選手 142	下 田 蓮	専修大学	選手 146	平 賀 龍 生	松戸市役所
選手 143	加 藤 翔	法政大学	選手 147	七 尾 晃 史	日本大学
予備登録選手 144	齋 藤 輝 心	明治大学	予備登録選手 148	月 舘 駿 介	松戸市役所
113 東京都			114 神奈川県		
監 督	工 藤 一 寛	リコー	監 督	長谷部 撰	神奈川県卓球協会
選手 149	伊 藤 礼 博	日本大学	選手 153	奥 山 堅 也	信号器材
選手 150	阿 部 悠 人	シチズン時計	選手 154	杉 本 和 也	リトルキングス
選手 151	上 村 慶 哉	シチズン時計	選手 155	飯 野 峻 輔	カヴァヌーラ
予備登録選手 152	三 部 航 平	シチズン時計	予備登録選手 156	八 幡 陽 介	駒澤大学
115 山梨県			116 新潟県		
監 督	志 村 和 幸	CLUB-e	監 督	渡 辺 樹	(株)後藤組
選手 157	加賀美 利 輝	増穂クラブ	選手 161	龍 崎 東 寅	(株)ケアリッツ・テクノロジーズ
選手 158	舞 鶴 翔	平野卓球センター	選手 162	石 山 慎	(株)ケアリッツ・アンド・パートナーズ
選手 159	坂 井 崇 人	山梨MTC	選手 163	若 月 展 翼	明治大学
予備登録選手 160	渡 部 舜	蝶友クラブ	予備登録選手 164	吉 田 朋 弥	中越運送株式会社
117 長野県			118 富山県		
監 督	宮 澤 輝	岡谷市役所	監 督	黒 崎 学	富山県信用保証協会
選手 165	渡 辺 凱	岡谷市役所	選手 169	前 山 宗 亮	國學院大學
選手 166	村 松 凜 音	岡谷市役所	選手 170	赤 尾 飛市朗	中央大学
選手 167	手 塚 峻 馬	岡谷市役所	選手 171	赤 尾 祐生朗	富山スガキ(株)
予備登録選手 168	内 村 英 司	岡谷市役所	予備登録選手 172	中 田 達 也	戸出クラブ
119 石川県			120 福井県		
監 督	西 東 輝	(株)清水スポーツ	監 督	斎 藤 稜 馬	福井県立福井商業高等学校(教)
選手 173	出 雲 卓 斗	ケアリッツ・アンド・パートナーズ	選手 177	徳 島 剛	セナタク
選手 174	三 浦 裕 大	筑波大学	選手 178	遠 藤 竜 馬	日野自動車(株)
選手 175	三 浦 竜 磨	豊田自動織機	選手 179	山 本 祥 吾	法政大学
予備登録選手 176	鈴 木 柊 平	日本製鐵名古屋	予備登録選手 180	長谷川 隼 大	中京大学

わたSHIGA輝く国スポ 2025

121 静岡県			122 愛知県		
監 督	金 子 義 則	ヤマハ発動機(株)	監 督	森 本 耕 平	愛知工業大学(職)
選手 181	溜 大 河	専修大学	選手 185	谷 垣 佑 真	愛知工業大学
選手 182	川 上 尚 也	日野キングフィッシャーズ	選手 186	鈴 木 颯	愛知工業大学
選手 183	田 中 京太郎	専修大学	選手 187	坂 井 雄 飛	愛知工業大学
予備登録選手 184	中 谷 歩 夢	専修大学	予備登録選手 188	萩 原 啓 至	愛知工業大学
123 三重県			124 岐阜県		
監 督	土 肥 良 圭	株式会社アスカプランニング名古屋	監 督	米 塚 雅 弘	朝日大学(職)
選手 189	松 平 健 太	(公財)三重県スポーツ協会	選手 193	岡 野 俊 介	朝日大学
選手 190	前 出 陸 杜	中央大学	選手 194	坂 本 椋	岐阜信用金庫
選手 191	佐 野 和 輝	中央大学	選手 195	酒 井 明日翔	T.O.M&卓球三昧
予備登録選手 192	鈴 木 波 輝	株式会社百五カード	予備登録選手 196	梅 村 友 樹	朝日大学
125 滋賀県			126 京都府		
監 督	金 島 博 之	びわこ成蹊スポーツ大学(職)	監 督	武 田 浩 士	立命館大学(職)
選手 197	五十嵐 史 弥	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	選手 201	星 優 真	専修大学
選手 198	松 下 大 星	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	選手 202	高 橋 慶 太	中央大学
選手 199	林 中 和 希	京都府保険医協会	選手 203	高 澤 新 吾	立命館大学
予備登録選手 200	高 橋 響 生	明治大学	予備登録選手 204	永 井 仁 志	同志社大学
127 大阪府			128 兵庫県		
監 督	窪 亜 希	NPO法人大阪卓球協会	監 督	谷 口 隆 夫	兵庫県卓球協会
選手 205	日 高 智 貴	駒澤大学	選手 209	松 田 歩 真	日野キングフィッシャーズ
選手 206	宮 本 春 樹	クローバー歯科カスピッツ	選手 210	青 山 貴 洋	中央大学
選手 207	菅 沼 湧 希	クローバー歯科カスピッツ	選手 211	谷 本 凌	中央大学
予備登録選手 208	藤 本 海 統	クローバー歯科カスピッツ	予備登録選手 212	二井原 有 真	専修大学
129 奈良県			130 和歌山県		
監 督	藤 井 優 子	小瀬クラブ	監 督	田 中 昌	和歌山県立和歌山工業高等学校(教)
選手 213	堀 川 敦 弘	クローバー歯科カスピッツ	選手 217	野 田 颯 太	日鉄物流ブレイザーズ
選手 214	今 村 英 太	近畿大学	選手 218	山 本 歩	日鉄物流ブレイザーズ
選手 215	富 澤 俊	E T T C	選手 219	高 見 真 己	日鉄物流ブレイザーズ
予備登録選手 216	新 宮 拓 人	竹取クラブ	予備登録選手 220	一ノ瀬 拓 巳	日鉄物流ブレイザーズ



131 鳥取県			132 島根県		
監 督	坂 根 康 之	倉吉卓球クラブ	監 督	今 林 浩 喜	(株)さんびる
選手 221	津 村 優 斗	Pico	選手 225	小 野 泰 和	中央大学
選手 222	山 本 竜太郎	専修大学	選手 226	佐 藤 卓 斗	法政大学
選手 223	世 古 凱 士	明治大学	選手 227	高 取 侑 史	リコー
予備登録選手 224	山 本 将 輝	上北条クラブ	予備登録選手 228	黒 田 昌 秀	法政大学
133 岡山県			134 広島県		
監 督	桐 野 博 史	岡山県卓球協会	監 督	藤 河 忠 行	広商クラブ
選手 229	郡 山 北 斗	(株)リコー	選手 233	玄 道 一 成	ヒロタクススポーツ
選手 230	柏 友 貴	関西高校(教)	選手 234	烏 田 東	専修大学
選手 231	福 島 太 生	朝日大学	選手 235	坂 田 陽 哉	駒澤大学
予備登録選手 232	丸 川 智 弘	駒澤大学	予備登録選手 236	徳 村 優 汰	瀬戸内スチール株式会社
135 山口県			136 香川県		
監 督	阿 部 一 道	萩光塩学院高等学校(教)	監 督	蓮 井 和 智	県立坂出工業高等学校(職)
選手 237	宮 川 昌 大	協和キリン	選手 241	南 颯	龍谷大学
選手 238	木 方 圭 介	明治大学	選手 242	新 名 智 弘	ZERO TTC
選手 239	三 木 隼	愛知工業大学	選手 243	新 名 亮 太	ケアリッツ・アンド・パートナーズ
予備登録選手 240	沼 村 齊 弥	ケアリッツ・アンド・パートナーズ	予備登録選手 244	松 山 大 起	Sand mountain
137 徳島県			138 愛媛県		
監 督	大 川 誠 司	福島卓球クラブ	監 督	井 上 祥	フジ
選手 245	三 谷 尚 輝	徳島県庁	選手 249	徳 田 幹 太	早稲田大学
選手 246	前 島 新 太	徳島県建設技術センター	選手 250	増 本 時 祥	愛媛銀行
選手 247	濱 川 明 史	関西卓球アカデミー	選手 251	吉 野 彪 功	フジ
予備登録選手 248	住 友 祐 介	大阪商業大学	予備登録選手 252	高 須 航	フジ
139 高知県			140 福岡県		
監 督	澤 崎 栄 吾	土佐中・高等学校(職)	監 督	高 森 勅 尊	高森卓球クラブ
選手 253	渡 辺 裕 介	協和キリン	選手 257	泊 航 太	リコー
選手 254	西 康 洋	日野キングフィッシャーズ	選手 258	道 廣 晴 貴	中央大学
選手 255	濱 田 尚 人	早稲田大学	選手 259	小園江 紀 也	明治大学
予備登録選手 256	黒 岩 勇 斗	高知大学	予備登録選手 260	久 保 賢輔	専修大学

141 佐賀県			142 長崎県		
監 督	原 隆 史	北陵高等学校(教)	監 督	浦 川 信 一	長崎市役所
選手 261	有 延 大 夢	Team SAGA SSP	選手 265	馬 渡 元 樹	日の出医療福祉グループ
選手 262	田 添 響	Team SAGA SSP	選手 266	大 山 亮 太	三菱重工長崎
選手 263	田 中 佑 汰	Team SAGA SSP	選手 267	芝 原 巧	福岡大学
予備登録選手 264	木 谷 颯 太	専修大学	予備登録選手 268	辻 本 駿	チームBM
143 熊本県			144 大分県		
監 督	西 山 羊 右	熊本県立熊本工業高等学校(教)	監 督	中 村 和 弘	豊和卓球SC
選手 269	加 藤 遼	日本製鉄(株)九州製鉄所	選手 273	江 藤 慧	クロバー歯科カスピッツ
選手 270	松 下 竜 巳	城山ひのくにジュニア	選手 274	田 原 翔 太	筑波大学
選手 271	原 田 大 輔	ブリヂストン加工品ジャパン(株)	選手 275	高 橋 拓 己	國學院大學
予備登録選手 272	下 田 奨 磨	(株)オリテックス	予備登録選手 276	嶋 田 碧 虎	駒澤大学
145 宮崎県			146 鹿児島県		
監 督	内 村 秀 平	都城市社会福祉協議会	監 督	吉 村 幸 三	出水市立出水商業高等学校(教)
選手 277	木 造 勇 人	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	選手 281	村 松 雄 斗	霧島整形外科病院
選手 278	横 谷 晟	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	選手 282	町 飛 鳥	株式会社ファースト
選手 279	黒 木 大 誠	朝日大学	選手 283	桐 野 蓮 大	大正大学
予備登録選手 280	藤 井 脩 平	國學院大學	予備登録選手 284	愛 村 優 太	鹿児島相互信用金庫
147 沖縄県					
監 督	西 里 完	琉球レオフォルテ			
選手 285	上江洲 光 志	琉球アスティーダ			
選手 286	中 村 廉	花木卓球クラブ			
選手 287	東 政 利	朝日大学			
予備登録選手 288	伊 佐 和 真	朝日大学			



参加選手一覧表

成年女子（20チーム）

201 北海道			202 青森県		
監 督	佐 藤 裕	札幌大谷高等学校(職)	監 督	神 山 昌太郎	神山TTC
選手 301	高 山 結女子	(株)ドウデン	選手 305	工 藤 夢	レゾナック
選手 302	伊 藤 ゆづき	(株)ドウデン	選手 306	船 場 清 華	十六フィナンシャルグループ
選手 303	北 川 加 純	(株)ドウデン	選手 307	竹 内 伶	中央大学
予備登録選手 304	小 倉 胡 遥	札幌国際大学	予備登録選手 308	鈴 木 柚 菜	八戸工業大学
203 山形県			204 埼玉県		
監 督	遠 藤 法 子	社会福祉法人敬愛信の会	監 督	濱 野 加代子	狭山フレンズ
選手 309	鈴 木 理 彩	NTT東日本東京	選手 313	田 口 瑛美子	個人
選手 310	高 橋 穂 佳	東北福祉大学	選手 314	永 野 萌 衣	愛知工業大学
選手 311	伊 藤 みちる	専修大学	選手 315	吉 岡 桜 子	中央大学
予備登録選手 312	延 沢 葵	東北学院大学	予備登録選手 316	浦 部 佳 苗	東洋大学
205 東京都			206 神奈川県		
監 督	太 田 康 仁	武蔵野中学高等学校(職)	監 督	岸 昌 宏	横浜隼人中学高校(教)
選手 317	三 村 優 果	サンリッ	選手 321	永 尾 堯 子	サンリッ
選手 318	白 山 亜 美	サンリッ	選手 322	笹 尾 明日香	日本生命
選手 319	塩 見 真 希	サンリッ	選手 323	小 畑 美 月	デンソー
予備登録選手 320	高 杉 咲 希	株式会社トプコン	予備登録選手 324	岩 木 仁 香	日本体育大学
207 長野県			208 石川県		
監 督	湯 本 晃	長野俊英高等学校(教)	監 督	野 村 幸 正	加賀市役所
選手 325	上 澤 杏 音	日本生命	選手 329	出 雲 美 空	レゾナック
選手 326	丸 山 溪	関西学院大学	選手 330	泉 田 和 抄	國學院大學
選手 327	塚 田 桜 姫	立命館大学	選手 331	牧 野 里 菜	筑波大学
予備登録選手 328	井ノ口 侑 果	新潟大学	予備登録選手 332	須 藤 菜々子	金城大学
209 静岡県			210 愛知県		
監 督	河 村 茉 依	デンソーポラリス	監 督	鬼 頭 明	愛知工業大学(職)
選手 333	菅 澤 柚花里	デンソーポラリス	選手 337	面 田 采 巳	愛知工業大学
選手 334	中 田 玲 奈	デンソーポラリス	選手 338	原 田 杏 奈	株式会社豊田自動織機
選手 335	野 村 光	デンソーポラリス	選手 339	藤 田 知 子	愛知工業大学
予備登録選手 336	森 田 清 香	朝日大学	予備登録選手 340	伊 藤 詩 菜	愛知工業大学

211 滋賀県			212 兵庫県		
監 督	平 善 彦	平卓球教室	監 督	西 村 敏 明	神戸市立葺合高等学校(教)
選手 341	南 波 侑里香	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	選手 345	山 本 真 愛	神戸松蔭大学
選手 342	成 本 綾 海	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	選手 346	大 西 友 佳	神戸松蔭大学
選手 343	平 真由香	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	選手 347	鶴 岡 美 菜	神戸松蔭大学
予備登録選手 344	川 森 天 詩	関西学院大学	予備登録選手 348	宮 本 早 紀	神戸松蔭大学
213 奈良県			214 島根県		
監 督	千 歳 章 倫	天理クラブ	監 督	岸 卓 臣	明誠高等学校(教)
選手 349	今 井 汐珠玖	クローバー歯科フェアリーズ	選手 353	山 崎 唯 愛	(株)サンリツ
選手 350	花 井 可 奈	クローバー歯科フェアリーズ	選手 354	小 村 歩 未	キヤノンメディカルシステムズ(株)
選手 351	森 下 陽 日	京都産業大学	選手 355	郡 山 七 海	広島日野自動車(株)
予備登録選手 352	橋 本 礼 香	天理大学	予備登録選手 356	竹 山 紗 矢	國學院大學
215 広島県			216 香川県		
監 督	伊 藤 春 美	中国電力ライシス	監 督	中 尾 優 子	百十四銀行
選手 357	枝 廣 瞳	中国電力ライシス	選手 361	岡 崎 日 和	百十四銀行
選手 358	中 森 帆 南	中国電力ライシス	選手 362	松 澤 帆乃果	百十四銀行
選手 359	由 本 楓 羽	中国電力ライシス	選手 363	石 田 瑳 歩	百十四銀行
予備登録選手 360	木 村 光 歩	中国電力ライシス	予備登録選手 364	大 川 千 尋	百十四銀行
217 愛媛県			218 福岡県		
監 督	大 竹 克 利	愛媛銀行	監 督	三 室 義 隆	三友スポーツ
選手 365	木 塚 陽 菜	愛媛銀行	選手 369	首 藤 成 美	専修大学
選手 366	塩 屋 杏 美	愛媛銀行	選手 370	伊 藤 百 華	株式会社エクセディ
選手 367	泉 田 朱 音	愛媛銀行	選手 371	三 輪 咲里南	広島日野自動車株式会社
予備登録選手 368	山 本 愛 織	愛媛銀行	予備登録選手 372	仲 本 七 虹	専修大学
219 熊本県			220 宮崎県		
監 督	高 木 雅 史	テーブルテニスプロショップTAKAGI	監 督	宮 田 梢	KATSUOKA
選手 373	宮 田 結 夏	熊本学園大学	選手 377	栗 山 優 菜	公益財団法人宮崎県スポーツ協会
選手 374	吉 松 寿 莉	中央大学	選手 378	宮 國 悠 乃	朝日大学
選手 375	坂 崎 愛 華	愛知工業大学	選手 379	小野田 萌 菜	株式会社サポータス
予備登録選手 376	谷 口 依里花	千里金蘭大学	予備登録選手 380	多 武 玲 帆	日南学園高等学校(教)



参加選手一覽表

少年男子（16チーム）

301 北海道			302 岩手県		
監 督	小 林 正 佳	駒澤大学附属苫小牧高等学校(教)	監 督	野 田 春 輔	専修大学北上高等学校(教)
選手 401	小 林 彪 雅	駒澤大学附属苫小牧高等学校	選手 405	渡 邊 峻	専修大学北上高等学校
選手 402	野 口 碧 斗	駒澤大学附属苫小牧高等学校	選手 406	池 田 皓 翔	専修大学北上高等学校
選手 403	中 田 浩 星	北海道科学大学高等学校	選手 407	高 橋 久 遠	専修大学北上高等学校
予備登録選手 404	浦 崎 陽	北海道科学大学高等学校	予備登録選手 408	木 下 颯 斗	専修大学北上高等学校
303 山形県			304 東京都		
監 督	杉野森 大 輔	鶴岡東高等学校(教)	監 督	水 谷 聡	実践学園中学・高等学校(教)
選手 409	阿 部 鴻 憲	鶴岡東高等学校	選手 413	木 方 蒼 介	実践学園高等学校
選手 410	石 塚 雄 人	鶴岡東高等学校	選手 414	島 岡 修 斗	安田学園高等学校
選手 411	水 野 登 偉	鶴岡東高等学校	選手 415	石 原 颯 海	実践学園高等学校
予備登録選手 412	太 田 大 夢	鶴岡東高等学校	予備登録選手 416	萩 野 雄 介	実践学園高等学校
305 神奈川県			306 新潟県		
監 督	大 森 隆 弘	木下グループ	監 督	山 岸 健 弥	新潟産業大学附属高校(教)
選手 417	川 上 流 星	星槎国際横浜高校	選手 421	山 岸 駿	新潟産業大学附属高校
選手 418	伊 藤 佑 太	星槎国際横浜高校	選手 422	小 林 侑 立	新潟産業大学附属高校
選手 419	吉 元 巽 海	横浜商業高校	選手 423	吉 田 蒼	新潟産業大学附属高校
予備登録選手 420	倉 嶋 康 介	木下アカデミー	予備登録選手 424	鶴 田 伊 吹	新潟産業大学附属高校
307 石川県			308 愛知県		
監 督	植 木 大	遊学館高等学校(教)	監 督	今 枝 一 郎	愛知工業大学名電高等学校(教)
選手 425	馬 潤 煌 世	遊学館高等学校	選手 429	面 田 知 己	愛知工業大学名電高等学校
選手 426	柴 田 蒼 馬	遊学館高等学校	選手 430	杉 浦 涼 雅	愛知工業大学名電高等学校
選手 427	平 塚 健 友	金沢市立城南中学校	選手 431	持 田 陽 向	愛知工業大学名電高等学校
予備登録選手 428	小 林 碧 斗	遊学館高等学校	予備登録選手 432	原 井 敢 田	愛知工業大学名電高等学校
309 滋賀県			310 大阪府		
監 督	高 橋 清 之	びわこ学院大学(職)	監 督	小 林 一 弘	上宮高等学校(職)
選手 433	北 村 智 也	近江高等学校	選手 437	立 藤 来 夢	大阪桐蔭高等学校
選手 434	野 中 倭 斗	近江高等学校	選手 438	鈴 木 拓 登	上宮高等学校
選手 435	服 部 柊 弥	近江兄弟社高等学校	選手 439	矢 吹 淳	上宮高等学校
予備登録選手 436	松 山 司	近江兄弟社高等学校	予備登録選手 440	仲 井 佑 弥	上宮高等学校

311 兵庫県			312 島根県		
監 督	田 中 雄 仁	育英高等学校(職)	監 督	佐 藤 拓 也	松徳学院高等学校(教)
選手 441	谷 本 拓 海	育英高等学校	選手 445	山 本 旬 真	松徳学院高等学校
選手 442	西 面 睦 輝	育英高等学校	選手 446	杉 谷 虎 太 朗	松徳学院高等学校
選手 443	三 木 翔	育英高等学校	選手 447	大 村 心	出雲北陵高等学校
予備登録選手 444	草 野 一 歩 輝	報徳学園高等学校	予備登録選手 448	小 林 大 空	松徳学院高等学校
313 山口県			314 高知県		
監 督	中 川 智 之	野田学園高等学校(教)	監 督	佐 藤 建 剛	明德義塾中・高等学校(職)
選手 449	岩井田 駿 斗	野田学園高等学校	選手 453	齋 藤 俊 太 朗	明德義塾高等学校
選手 450	中 野 琥 珀	野田学園高等学校	選手 454	柳 本 進 太 朗	明德義塾中学校
選手 451	島 田 翼	野田学園高等学校	選手 455	西 川 颯 人	明德義塾高等学校
予備登録選手 452	岡 本 智 心	野田学園高等学校	予備登録選手 456	福 永 旭	明德義塾高等学校
315 福岡県			316 大分県		
監 督	石 田 真 太 郎	希望が丘高等学校(教)	監 督	藤 本 賢 司	明豊中学・高等学校(教)
選手 457	森 真 奈 斗	希望が丘高等学校	選手 461	小 野 大 翔	明豊高等学校
選手 458	森 駿 登	希望が丘高等学校	選手 462	比 嘉 輝 人	明豊高等学校
選手 459	浅 見 昂 希	希望が丘高等学校	選手 463	中 野 純 正	明豊高等学校
予備登録選手 460	佐々木 雄 大	福岡常葉高等学校	予備登録選手 464	渡 邊 秀 磨	明豊高等学校



参加選手一覧表

少年女子 (32チーム)

401 北海道			402 青森県		
監 督	松 下 英 司	留萌市役所	監 督	八 島 功	青森県立黒石高等学校(教)
選手 501	高 橋 美 羽	駒澤大学附属苫小牧高等学校	選手 505	福 士 心 菜	神山TTC/青森市立浦町中学校
選手 502	松 元 菜 音	北海道留萌高等学校	選手 506	馬 場 未 来	青森県立八戸工業高等学校
選手 503	小 林 芽 生	駒澤大学附属苫小牧高等学校	選手 507	長 内 真 桜	青森県立青森商業高等学校
予備登録選手 504	土 肥 千依菜	留萌高等学校	予備登録選手 508		
403 宮城県			404 秋田県		
監 督	岡 崎 千恵美	聖和学園高等学校(教)	監 督	佐 藤 重 喜	秋田県卓球協会
選手 509	福 原 あ い	聖和学園高等学校	選手 513	小 松 愛 珠	秋田令和高等学校
選手 510	藤 井 美 佑	聖和学園高等学校	選手 514	高 橋 沙 和	秋田令和高等学校
選手 511	福 島 実 夢	聖和学園高等学校	選手 515	須 田 茉里愛	秋田市立秋田商業高等学校
予備登録選手 512	阿 部 杏 香	聖和学園高等学校	予備登録選手 516	伊 藤 媛 音	秋田県立角館高等学校
405 福島県			406 群馬県		
監 督	小 林 直 哉	桜の聖母学院高等学校(教)	監 督	田 中 真 子	樹徳高等学校(教)
選手 517	山 内 愛 永	桜の聖母学院高等学校	選手 521	原 澤 杏 佳	みなかみ町立みなかみ中学校
選手 518	加 藤 光 咲	桜の聖母学院高等学校	選手 522	井 上 結 楽	群馬県立沼田高等学校
選手 519	木 村 利 渚	桜の聖母学院高等学校	選手 523	匂 坂 恵 唯	樹徳高等学校
予備登録選手 520	柳 沼 夏 帆	郡山女子大学附属高等学校	予備登録選手 524	長谷川 凜 香	樹徳高等学校
407 埼玉県			408 千葉県		
監 督	平 亮 太	正智深谷高等学校(教)	監 督	秋 葉 泰 朗	千葉商科大学付属高等学校(教)
選手 525	熊 田 陽 花	正智深谷高等学校	選手 529	内 藤 ひかり	和洋国府台女子高等学校
選手 526	樋 浦 光	正智深谷高等学校	選手 530	笠 田 朋 花	和洋国府台女子高等学校
選手 527	伊 藤 心 咲	正智深谷高等学校	選手 531	落 合 夏 鈴	千葉経済大学附属高等学校
予備登録選手 528	平 山 裕 理	秋草学園高等学校	予備登録選手 532	竹 下 優 愛	木更津総合高等学校
409 東京都			410 神奈川県		
監 督	平 屋 徹	武蔵野中学高等学校(教)	監 督	渡 邊 隆 司	木下グループ
選手 533	幾 島 ゆうか	武蔵野高等学校	選手 537	櫻 井 花	星槎国際横浜高校
選手 534	大 岩 悠 乃	武蔵野中学校	選手 538	高 橋 青 葉	木下アカデミー
選手 535	津 田 希 那	武蔵野高等学校	選手 539	島 村 果 怜	横浜隼人高校
予備登録選手 536	照 井 莉 胡	武蔵野高等学校	予備登録選手 540	倉 嶋 杏 奈	星槎国際横浜高校

411 新潟県			412 石川県		
監 督	竹 内 聡	北越高校(教)	監 督	安 達 健 佑	遊学館高等学校(教)
選手 541	松 澤 和 咲	北越高校	選手 545	日下部 詩 季	遊学館高等学校
選手 542	浅 井 穂 香	本丸中学校	選手 546	大 出 ら ん	遊学館高等学校
選手 543	滝 沢 美 玖	黒埼中学校	選手 547	野 間 瑤 子	遊学館高等学校
予備登録選手 544	笹 川 彩 桜	黒埼中学校	予備登録選手 548	田 中 咲 妃	遊学館高等学校
413 福井県			414 静岡県		
監 督	川 畑 圭 輔	フェニックス卓球クラブ	監 督	山 本 寛	浜松修学舎中学校・高等学校(教)
選手 549	森 國 穂乃花	福井県立福井商業高等学校	選手 553	村 田 陽	浜松修学舎高等学校
選手 550	伊 藤 三 緒	福井市大東中学校	選手 554	岩 見 香 蓮	ITSUKIクラブ
選手 551	杉 本 心 麗	福井市大東中学校	選手 555	山 田 楓 花	浜松修学舎高等学校
予備登録選手 552	小 林 蒼 生	福井県立敦賀高等学校	予備登録選手 556	玉 石 汐 里	島田樟誠高等学校
415 愛知県			416 三重県		
監 督	野木森 孝 充	桜丘高等学校(教)	監 督	村 上 悠 馬	三重県立白子高等学校(教)
選手 557	山 室 早 矢	桜丘高等学校	選手 561	伊 藤 杏 莉	三重県立白子高等学校
選手 558	田 旻 一	桜丘高等高校	選手 562	三 輪 紋 女	三重県立白子高等学校
選手 559	岩 見 百 恵	桜丘高等学校	選手 563	大 仲 絢 心	三重県立白子高等学校
予備登録選手 560	遊 佐 映 月	愛知みずほ大学瑞穂高等学校	予備登録選手 564	笹 村 莉 央	三重県立白子高等学校
417 滋賀県			418 京都府		
監 督	乾 文 晃	滋賀学園高等学校(教)	監 督	村 上 竜	華頂女子高等学校(教)
選手 565	木 村 天 音	滋賀学園高等学校	選手 569	大 岡 紗由利	京都女子高等学校
選手 566	西 山 玲 衣	滋賀学園高等学校	選手 570	廣 瀬 文 香	龍谷大学付属平安高等学校
選手 567	秋 田 莉 奈	滋賀学園高等学校	選手 571	坂 本 陽 菜	龍谷大学付属平安高等学校
予備登録選手 568	荒 田 那々音	滋賀学園高等学校	予備登録選手 572	小 川 采 海	龍谷大学付属平安高等学校
419 大阪府			420 兵庫県		
監 督	有 川 弘 雄	精華高等学校(教)	監 督	上 石 修 平	兵庫県立有馬高等学校(教)
選手 573	青 木 咲 智	四天王寺高等学校	選手 577	松 井 朱 音	神戸市立神港橘高等学校
選手 574	高 森 愛 央	四天王寺高等学校	選手 578	高 田 美 奈	神戸野田高等学校
選手 575	富 田 純 菜	四天王寺高等学校	選手 579	司 佳 苗	兵庫県立明石城西高等学校
予備登録選手 576	新 谷 莉 央	四天王寺高等学校	予備登録選手 580	今 井 咲 希	神戸山手グローバル中学校



421 和歌山県			422 鳥取県		
監 督	谷 口 陽 一	和歌山県立粉河高等学校(教)	監 督	池 田 雄 哉	倉吉北高等学校(教)
選手 581	吉 富 一 花	和歌山県立粉河高等学校	選手 585	藤 井 葵 生	鳥取城北高等学校
選手 582	西 村 乙 華	和歌山県立粉河高等学校	選手 586	鈴 木 美 美 由	鳥取城北高等学校
選手 583	太 田 優 奈	和歌山県立桐蔭高等学校	選手 587	竹 本 悠 奈	鳥取市立湖東中学校
予備登録選手 584	田 中 結 菜	和歌山県立粉河高等学校	予備登録選手 588	小 谷 和 楓	鳥取城北高等学校
423 島根県			424 岡山県		
監 督	岸 真 由	明誠高等学校(職)	監 督	丸 川 真 一	卓球クラブマルカワ
選手 589	大 崎 陽歌里	明誠高等学校	選手 593	齋 木 結 心	山陽学園高等学校
選手 590	東 ゆ め	明誠高等学校	選手 594	面 手 凛	山陽学園高等学校
選手 591	岸 凛	明誠高等学校	選手 595	樋 口 美 空	山陽学園高等学校
予備登録選手 592	南 雲 日 花	明誠高等学校	予備登録選手 596	高 取 ま い	山陽学園高等学校
425 香川県			426 愛媛県		
監 督	河 西 弘 誠	尽誠学園高等学校(教)	監 督	堀 内 智 文	愛媛県立松山西中等教育学校(教)
選手 597	山 村 茉緒子	尽誠学園高等学校	選手 601	河 端 萌々子	済美高等学校
選手 598	香 取 海 右	尽誠学園高等学校	選手 602	和 田 心	済美高等学校
選手 599	宮 崎 智 彩	尽誠学園高等学校	選手 603	中 山 彩	済美高等学校
予備登録選手 600	中 嶋 心 咲	高松商業高等学校	予備登録選手 604	石 丸 海 羽	愛媛県立松山北高等学校
427 高知県			428 福岡県		
監 督	佐 藤 利 香	明德義塾中・高等学校(職)	監 督	宗 久美子	川田卓球クラブ
選手 605	吉 田 璃 乃	明德義塾高等学校	選手 609	大 野 紗 蘭	希望が丘高等学校
選手 606	渡 邊 心 葉	明德義塾高等学校	選手 610	加 藤 心乙花	希望が丘高等学校
選手 607	駒 瀬 あゆみ	明德義塾高等学校	選手 611	芝 原 朋 花	希望が丘高等学校
予備登録選手 608	青 井 里 穂	明德義塾高等学校	予備登録選手 612	赤 嶺 登 愛	希望が丘高等学校
429 佐賀県			430 熊本県		
監 督	寄 谷 大 輔	敬徳高等学校(教)	監 督	高 木 誠 也	テールテニスプロショップTAKAGI
選手 613	井 上 永 遠	敬徳高等学校	選手 617	刈 芷 含	慶誠高等学校
選手 614	岩 室 瀬 南	敬徳高等学校	選手 618	高 田 真 帆	ヒゴ鏡卓球クラブ
選手 615	宮 島 彩 奈	敬徳高等学校	選手 619	中 島 花 菜	慶誠高等学校
予備登録選手 616	梶 山 陽 菜	敬徳高等学校	予備登録選手 620	緒 方 香	慶誠高等学校

431 大分県			432 宮崎県		
監 督	松 本 香 織	明豊中学・高等学校(教)	監 督	西 谷 恵 美	日南学園高等学校(教)
選手 621	渡 邉 莉々子	明豊高等学校	選手 625	宮 國 由梨乃	日南学園高等学校
選手 622	戸 高 彩 夢	明豊高等学校	選手 626	刀 根 楓	日南学園高等学校
選手 623	荒 木 くらら	明豊高等学校	選手 627	金 城 陽 咲	日南学園高等学校
予備登録選手 624	阿 部 愛 未	明豊高等学校	予備登録選手 628	可 知 和	日南学園高等学校



成年男女・少年男女 第5位表彰式

- 1 日 時 令和7年10月1日（水） 17：00～
- 2 会 場 野洲市総合体育館
- 3 出 席 者 選手団 16：55（所定の場所に着席）
役 員 16：55（所定の場所に着席または整列）

4 式 次 第

	次 第
1	開 式 通 告
2	成 績 発 表
3	賞 状 授 与
4	閉 式 通 告
	選 手 団 写 真 撮 影

成年男女・少年男女 表彰式、総合表彰式

- 1日時
- 令和7年10月2日（木） 15：30～
- 2会場
- 野洲市総合体育館
- 3集合
- 選手団 15：25（所定の場所に着席）
役員 15：25（所定の場所に着席または整列）
- 4式次第

	次 第
1	開 式 通 告
2	成 績 発 表・ 賞 状 授 与 （ 成 年 男 女・ 少 年 男 女 ）
3	成 績 発 表・ 表 彰 状 授 与 （ 女 子 総 合・ 男 女 総 合 ）
4	競 技 会 会 長 あ い さ つ
5	歓 送 の こ と ば
6	国 旗 儀 礼
7	諸 旗 儀 礼
8	競 技 会 終 了 宣 言・ 閉 式 通 告
9	感 謝 状 贈 呈
	選 手 団 写 真 撮 影



練習会場の使用について

練習会場の開設時間と割当

会 場 名		9 / 26 (金)	9 / 27 (土)	9 / 28 (日)	9 / 29 (月)	9 / 30 (火)	10 / 1 (水)	10 / 2 (木)
競 技 会 場	野洲市総合体育館 (14コート)	13:00 }	9:00 }	7:40 }	7:40 }	7:40 }	7:40 }	7:40 }
	野洲市富波甲1339	17:00 }	15:00 }	8:15 }	8:15 }	8:15 }	8:15 }	8:15 }
		※別紙 割当表		*当該日の第1試合に出場するチーム専用とします。 各対戦コートで練習してください。				
練 習 会 場	野洲市立祇王小学校 (1～8) コート 18チーム 野洲市上屋1169	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	14:00 }	
	北海道・東北 各ブロックのチーム						フリー	
	野洲市立祇王小学校 (9～16) コート 18チーム 野洲市上屋1169	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	14:00 }	
	関東ブロックのチーム						フリー	
	中主B&G海洋センター (1～5) コート 12チーム 野洲市六条460	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	
	北信越ブロックのチーム						フリー	
	中主B&G海洋センター (6～9) コート 10チーム 野洲市六条460	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	
	東海ブロックのチーム						フリー	
	中主B&G海洋センター (10～16) コート 17チーム 野洲市六条460	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	
	近畿ブロックのチーム						フリー	
	野洲市立野洲北中学校 (1～5) コート 12チーム 野洲市永原1690	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	14:00 }	
	中国ブロックのチーム						フリー	
	野洲市立野洲北中学校 (6～9) コート 10チーム 野洲市永原1690	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	14:00 }	
	四国ブロックのチーム						フリー	
	野洲市立野洲北中学校 (10～16) コート 18チーム 野洲市永原1690	13:00 }	9:00 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	8:30 }	
		17:00 }	15:00 }	17:00 }	17:00 }	17:00 }	14:00 }	
	九州ブロックのチーム						フリー	

<ブロック表>

ブロック名	都道府県名	参加チーム数
北 海 道	北海道	4
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	14
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	18
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	12
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	10
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	17
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	12
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	10
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	18

<注意事項>

- 競技会場及び練習会場の開場時間は、練習開始の30分前となります(9/26の競技会場については、12:00から受付を開始します)。
- 練習会場を使用する場合は、受付簿へチーム名等を記入してください。
- 空いているコートは自由に使用可能ですが、割り当てのチームが到着したときは、すみやかに空けてください。また、各チーム譲り合って使用してください。
- 練習会場へは、シャトルバスをご用意しておりますのでご利用ください。
持ち込み車両の場合は、各会場指定の駐車場をご使用ください。

競技会場(野洲市総合体育館大アリーナ)の練習時間割当表

		9月26日(金)						9月27日(土)					
会場	コート No.	13:00 〃	13:40 〃	14:20 〃	15:00 〃	15:40 〃	16:20 〃	9:00 〃	10:00 〃	11:00 〃	12:00 〃	13:00 〃	14:00 〃
		13:40	14:20	15:00	15:40	16:20	17:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
野洲市総合体育館 大アリーナ	1	東海			北信越			北海道 (4チーム)		九州			
	2							東北 (14チーム)					
	3	近畿			関東 (18チーム)								
	4							北海道 (4チーム)					
	5	九州			東北 (14チーム)								
	6							北信越					
	7	中国			四国								
	8							北信越					
	9	中国			四国								
	10							北信越					
	11	中国			四国								
	12							北信越					
	13	中国			四国								
	14							北信越					



都道府県・種別入賞回数

2025 現在

種別 加盟団体名		成年								少年							
		男子				女子				男子				女子			
		1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位
1	北海道	1	1	7	13		1	2	13	1		5	4			3	12
2	青森県	10	5	2	17	1	3	13	15	22	2	9	15	9	9	8	16
3	岩手県	1	1	1	6		1	4	3			2	5		2	2	4
4	宮城県			7	10	1	5	5	4		5		9	5	8	3	1
5	秋田県	1	2	2	2		1		1			1	6	1	1	1	3
6	山形県		1	1	4			2				2	5			2	4
7	福島県			1	2				4			1	1			1	6
8	茨城県				9	5	1	5	6			2	2		1	1	3
9	栃木県			1	1	3		4	5	1	1	1	5	2	4	10	9
10	群馬県				1				1				5		1	2	4
11	埼玉県	6	3	7	10	3		3	13	11	6	12	9		2	6	14
12	千葉県	7	5	12	9	2	3	6	13			1	4				4
13	東京都	18	21	16	7	15	12	16	13	6	5	4	19	1	4	6	17
14	神奈川県	8	4	13	15	10	7	10	15		2	8	16	5	6	12	16
15	山梨県				1		1	2	2				1			2	1
16	新潟県				8		1	2	3		1	2	4			6	6
17	長野県		1		4			1	6			1	2	1		2	2
18	富山県			1	1	2		1	5				3				5
19	石川県				2				3			9	7		3	2	6
20	福井県			2	3	1		1	4				3			1	5
21	静岡県	4	5	8	11	2	3	8	20		1		8	2	2	3	9
22	愛知県	6	4	11	13	3	3	9	12	16	10	14	17	3	4	8	13
23	三重県			2	5		1	2	3				2			2	5
24	岐阜県			2	1	5	3	4	14			3	5	2	3	8	7
25	滋賀県	1	2	2	4	2	1		7								
26	京都府	2	6	6	16	8	1	4	11	5	13	16	19		5	5	8
27	大阪府	4	4	9	18	4	7	9	16	5	8	13	8	26	5	10	7
28	兵庫県		1	3	5		2	7	6	1	4	3	10	2	1	1	9
29	奈良県			1	4		1		3				1				2
30	和歌山県	2	3	9	10			1	2			1	2				
31	鳥取県				1								2			1	
32	島根県			1								3	4				1
33	岡山県			5	11			5	6	1		4	8	1	2	9	15
34	広島県				15	3	7	8	13	1	1	2	9	2		2	4
35	山口県	3	5	6	8	4	3	4	12	3	8	7	6	6	1	10	12
36	香川県				3				4			2	2	2	2	2	5
37	徳島県				12		2		1	1	1	1	6				2
38	愛媛県			1	5			2	7				5			2	5
39	高知県			3	4		1	1	4		1	5	19	1	4	4	17
40	福岡県		1	5	13			5	15	1	3	6	18	3	3	8	10
41	佐賀県	1		1			1	1	1								2
42	長崎県				3	1						1	2				
43	熊本県		1	1	4	1	3	3	6		1	1	1		2	3	13
44	大分県			1	6				2		1	1	8			1	3
45	宮崎県				3		1		7		1	2	7	1			5
46	鹿児島県	1		1	2			2	2			5	4			1	6
47	沖縄県			1	2				1				1				1

※上記一覧に第1・2回大会の個人戦、教職員の一部、軟式一般男女の部、成年男女2部は含まれない。

年次別成績一覧表（前回大会までの記録）

開催地・年度	順位	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	
大阪府 西宮市 (宝塚公会堂) 第1回 (昭和21年度)	1位	藤井 則和(京都府)	加藤 君枝(京都府)	西山・西村(大阪府)	加藤・浅堀(京都府)	
	2位	田舛 彦介(山口県)	川村 富子(兵庫県)	山 口 県	愛 媛 県	
	3位	川上 正(大阪府)	西山喜代子(大阪府)	大 分 県	兵 庫 県	
		船木 藤蔵(北海道)	麻堀みさ子(京都府)	京 都 府	大 阪 府	
	順位	混合ダブルス	軟式男子シングルス	軟式女子シングルス	軟式ベテラン	
	1位	藤井・松本(京都府)	林 忠明(東京都)	渡辺 睦子(静岡県)	倉橋 長七(大阪府)	
	2位	宮 城 県	南波 好弘(東京都)	松本貴代子(京都府)	田舛 吉郎(山口県)	
	3位	山 口 県	戸塚 和美(東京都)	荘司 勝子(大分県)	片山 忠義(広島県)	
		愛 媛 県	浅野 英男(東京都)	東 郷(東京都)	長尾 勇(京都府)	
開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	
石川県 (大聖寺町) 第2回 (昭和22年度)	1位	東 京 都	京 都 府	松山 博夫(愛知県)	河野 泰子(熊本県)	
	2位	大 阪 府	新 潟 県	安田 昇(岡山県)	土居 民枝(京都府)	
	3位	愛 知 県	広 島 県	有加 末義(岡山県)	北島 正子(和歌山県)	
	5位	山 口 県	熊 本 県	高木 久雄(京都府)	木村 宏子(埼玉県)	
		宮 崎 県	神 奈 川 県	鈴木 一(青森県)	柴田 羊子(東京都)	
		青 森 県	福 岡 県	米田 朔朗(埼玉県)	石井喜久子(岡山県)	
		北 海 道	千 葉 県	佐伯 寛正(愛媛県)	武市多美子(高知県)	
		静 岡 県	静 岡 県	山根 喬(鳥取県)	竹中ミツ子(大阪府)	
開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	教職員の部
福岡県 (福岡市) 第3回 (昭和23年度)	1位	愛 知 県	京 都 府	広 島 県	岡 山 県	岡 山 県
	2位	東 京 都	徳 島 県	宮 城 県	京 都 府	群 馬 県
	3位	岡 山 県	青 森 県	京 都 府	愛 知 県	東 京 都
	5位	静 岡 県	新 潟 県	青 森 県	山 口 県	北 海 道
		宮 城 県	福 岡 県	群 馬 県	岡 山 県	長 崎 県
		山 口 県	京 都 府	高 知 県	形 勢 県	青 森 県
		北 海 道	奈 川 県	大 阪 府	千 葉 県	栃 木 県
		大 阪 府	奈 川 県	大 阪 府	茨 城 県	山 梨 県
開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	教職員の部
東京都 (北区) 第4回 (昭和24年度)	1位	神 奈 川 県	京 都 府	北 海 道	香 川 県	香 川 県
	2位	東 京 都	徳 島 県	兵 庫 県	京 都 府	京 都 府
	3位	宮 城 県	北 海 道	愛 知 県	茨 城 県	茨 城 県
	5位	北 愛 知 県	青 森 県	東 京 都	山 口 県	山 口 県
		埼 玉 県	広 島 県	岩 手 県	岡 山 県	岡 山 県
		山 口 県	新 潟 県	千 葉 県	愛 知 県	愛 知 県
		大 阪 府	東 京 都	群 馬 県	山 北 県	山 北 県
		大 阪 府	大 阪 府	宮 城 県	大 阪 府	大 阪 府
開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	軟式一般男女の部
愛知県 (半田市) 第5回 (昭和25年度)	1位	神 奈 川 県	広 島 県	愛 知 県	山 口 県	新 潟 県
	2位	大 阪 府	東 京 都	東 京 都	香 川 県	愛 媛 県
	3位	宮 城 県	神 奈 川 県	大 阪 府	福 岡 県	東 京 都
	5位	岡 山 県	北 海 道	兵 庫 県	京 都 府	香 川 県
		山 形 県	京 都 府	香 川 県	北 海 道	兵 庫 県
		北 海 道	青 森 県	宮 城 県	群 馬 県	大 阪 府
		愛 知 県	熊 本 県	京 都 府	東 京 都	富 山 県
		愛 知 県	兵 庫 県	千 葉 県	愛 知 県	埼 玉 県
広島県 (呉市) 第6回 (昭和26年度)	1位	北 海 道	京 都 府	岡 山 県	山 口 県	東 京 都
	2位	東 京 都	東 京 都	大 阪 府	静 岡 県	大 阪 府
	3位	神 奈 川 県	京 都 府	大 阪 府	兵 庫 県	京 都 府
	5位	愛 知 県	神 奈 川 県	山 形 県	岡 山 県	京 都 府
		山 口 県	島 根 県	愛 媛 県	京 都 府	大 阪 府
		岡 山 県	大 阪 府	兵 庫 県	都 府	北 海 道
		栃 木 県	山 口 県	海 道 県	京 都 府	秋 田 県
		大 阪 府	大 阪 府	大 阪 府	大 阪 府	青 森 県
宮城県 (仙台市) 第7回 (昭和27年度)	1位	東 京 都	京 都 府	青 森 県	広 島 県	宮 城 県
	2位	山 形 県	北 海 道	兵 庫 県	京 都 府	城 京 県
	3位	北 海 道	山 口 県	大 阪 府	静 岡 県	京 都 府
	5位	宮 城 県	大 阪 府	群 馬 県	東 京 都	兵 庫 県
		岩 手 県	愛 知 県	宮 城 県	奈 川 県	富 山 県
		京 都 府	千 葉 県	神 奈 川 県	山 形 県	熊 本 県
		静 岡 県	東 京 都	新 潟 県	北 海 道	大 阪 府
		島 根 県	京 都 府	湯 沢 県	海 道 県	長 崎 県
徳島県 (徳島市) 第8回 (昭和28年度)	1位	東 京 都	埼 玉 県	青 森 県	広 島 県	東 京 都
	2位	京 都 府	京 都 府	愛 知 県	兵 庫 県	京 都 府
	3位	都 府	都 府	山 口 県	山 口 県	大 阪 府
	5位	海 道 県	愛 媛 県	京 都 府	愛 媛 県	宮 城 県
		森 島 県	大 山 県	群 馬 県	群 馬 県	秋 田 県
		城 山 県	茨 城 県	岡 山 県	岡 山 県	栃 木 県
		山 口 県	山 口 県	兵 庫 県	兵 庫 県	京 都 府
		山 口 県	山 口 県	兵 庫 県	兵 庫 県	京 都 府



開催地・年度	順位	一般男子の部			一般女子の部			高校男子の部			高校女子の部			軟式一般男女の部		
北海道 (旭川市) 第9回 (昭和29年度)	1位 2位 3位 5位	静岩 東神 大青 北新	岡手 京奈 川阪 森海 潟	県都 都府 府道 道県	山愛 兵大 埼京 茨東	口知 庫阪 玉都 城京	県県 県府 府県 府都	愛兵 東青 広千 山岡	知庫 京森 島葉 口山	県都 県県 県県 県県	兵愛 山群 三熊 岡福	庫知 口馬 重本 山島	県県 県県 県県 県県	大熊 広岐 東宮 山兵	阪本 島阜 京城 形庫	府県 県県 都県 県県
神奈川県 (横須賀市) 第10回 (昭和30年度)	1位 2位 3位 5位	岩北 宮神 静千 京新	手海 城奈 川岡 葉都 潟	県道 県県 県県 府府	山東 兵愛 広静 大京	口京 庫知 島岡 阪都	県都 県県 県県 府府	青山 埼愛 神和 富静	森口 玉知 奈川 歌山 岡	県県 県県 県県 県県	静愛 秋山 埼福 香山	岡知 田形 玉島 川口	県県 県県 県県 県県	大神 東広 岩富 兵京	阪川 島手 山庫 都都	府県 都県 県県 府府
兵庫県 (神戸市) 第11回 (昭和31年度)	1位 2位 3位 5位	青東 兵愛 岩新 大千	森京 庫知 手潟 阪葉	県都 県県 県県 府府	山東 大兵 三愛 群広	口京 阪庫 重知 馬島	県都 府府 県県 県県	兵山 和福 秋静 富埼	庫口 歌山 岡田 岡山 玉	県県 県県 県県 県県	山静 香埼 石兵 熊大	口岡 川玉 川庫 本阪	県県 県県 県県 府府	東大 北愛 宮広 愛新	京阪 海知 城島 媛潟	都府 道県 県県 県県
静岡県 (吉原市) 第12回 (昭和32年度)	1位 2位 3位 5位	青兵 岩東 神愛 新大	森庫 手京 川知 潟阪	県県 都都 県県 府府	東兵 京京 静山 千愛 広	京庫 都岡 口葉 媛島	都府 府府 県県 県県	東兵 愛京 広青 茨岩	京庫 知都 島森 城手	都県 県府 県県 県県	静栃 山埼 愛新 岡大	岡木 口玉 知潟 山分	県県 県県 県県 県県	京大 北愛 栃富 新広	都阪 海知 木山 潟島	府府 道県 県県 県県
富山県 (福光町) 第13回 (昭和33年度)	1位 2位 3位 5位	青東 千兵 大秋 徳愛	森京 葉庫 分田 島知	県都 県県 県県 県県	東兵 長静 石京 福神	京庫 野岡 川都 岡奈 川	都府 府府 県県 県県	東愛 大京 青大 群静	京知 阪都 森分 馬岡	都県 県府 県県 県県	山栃 静京 群東 岩神	口木 岡都 馬京 手奈 川	県県 県府 県都 県県	東京 神大 山静 愛岡	京都 奈阪 形岡 知山	都府 県府 県県 県県
東京都 (台東区) 第14回 (昭和34年度)	1位 2位 3位 5位	青東 千富 神広 岡茨	森京 葉山 川島 山城	県都 県県 県県 県県	東山 静広 埼福 神滋	京口 岡島 玉井 奈川 賀	都府 県県 県県 県県	東京 北香 兵宮 山大	京都 海川 庫城 口阪	都府 道県 県県 県府	東神 静山 茨宮 新栃	京奈 岡口 城崎 潟木	都県 県県 県県 県県	大東 茨埼 岡兵 山千	阪京 城玉 山庫 形葉	府都 県県 県県 県県
熊本県 (阿蘇町・一ノ宮町) 第15回 (昭和35年度)	1位 2位 3位 5位	東静 福山 愛千 岡岐	京岡 島形 媛葉 山阜	都県 県県 県県 県県	東大 愛広 富静 宮山	京阪 知島 山岡 崎口	都府 県県 県県 県県	愛熊 秋青 東鹿 鳥京	知本 田森 京児 取都	県県 県県 都都 府府	愛秋 東京 熊徳 山青	県都 府府 県県 県県	東熊 福広 大山 広北	京本 岡島 阪口 島海	都県 県県 府府 県道	
秋田県 (本庄市) 第16回 (昭和36年度)	1位 2位 3位 5位	千秋 大東 京岡 神徳	葉田 阪京 都山 奈川 島	県府 都府 府県 県県	大東 広愛 埼富 滋静	阪京 島知 玉山 賀岡	府都 県県 県県 県県	東青 京新 宮宮 鹿高 秋	京森 都潟 城児 知田	都県 府府 県県 県県	愛京 新石 青熊 静山	知都 潟川 森本 岡口	県府 県県 県県 県県	秋広 東宮 岩岐 神愛	田島 京城 手阜 奈川 知	県都 都県 県県 県県
岡山県 (西大寺市) 第17回 (昭和37年度)	1位 2位 3位 5位	千秋 神岡 熊大 兵福	葉田 奈川 山本 阪庫 岡	県県 県県 府府 県県	東山 岡愛 京石 秋徳	京口 山知 都川 田島	都府 県県 府府 県県	東福 山青 兵群 鳥和	京岡 口森 庫馬 取歌 山	都県 県県 県県 県県	山愛 栃岡 秋大 香京	口知 木山 田阪 川都	県県 県県 府府 府府	東富 福大 秋愛 岡岐	京山 岡阪 田媛 山阜	都府 県府 県県 県県
山口県 (柳井市・岩国市) 第18回 (昭和38年度)	1位 2位 3位 5位	東山 三北 大福 石香	京口 重海 阪岡 川川	都県 県道 府府 県県	東大 京山 新愛 埼茨	京阪 都口 潟知 玉城	都府 府府 県県 県県	愛神 青山 京新 高岡	知奈 森口 都潟 知山	県県 県府 県府 県県	山栃 大神 静岡 京	口木 阪阪 川岡 山都	県府 府府 県県 府府	東埼 大熊 京京 広福	京玉 阪本 都島 岡山	都府 府府 県県 県県

わたSHIGA輝く国スポ 2025

開催地・年度	順位	一般男子の部			一般女子の部			高校男子の部			高校女子の部			軟式一般男女の部		
新潟県 (直江津市) 第19回 (昭和39年度)	1位 2位 3位 5位	大東秋福青新神熊	阪京田岡森潟奈川本	府都県県県県県県	東愛山新香青熊大	京知口潟川森本阪	都県県県県県県府	愛新大岩埼青東神奈川	知潟阪手玉森京	県県府県県県県都県	大山新愛富大北栃	阪口潟知山分海木	府県県県県県県道県	東山広埼愛岐神京奈川都	京口島玉知阜	都県県県県県県府
岐阜県 (中津川市) 第20回 (昭和40年度)	1位 2位 3位 5位	青東岐宮愛和秋静	森京阜城知山岡	県都県県県県県県	愛山大東福岐栃京	知口阪京岡阜木都	県府都県県県県府	京徳鹿愛埼山山岐	都島児知玉形口阜	府県県県県県県県	大青愛京秋北岐栃	阪森知都田海阜木	府県県府県道県県	岐愛山徳東宮北富	阜知口島京城海山	県県県都県道県
大分県 (日出町) 第21回 (昭和41年度)	1位 2位 3位 5位	秋東福和三徳北大	田京井歌重島海分	県都県県県県県道県	愛静埼山山大東神京	知岡玉口分京奈川都	県県県県県都県府	徳愛北埼京広兵青	島知海玉都島庫森	県県道県府県県県	大東山大鹿岩愛富	阪京口分島手媛山	府都県県県県県県	岐北石東秋兵山大	阜海川京田庫口阪	県道県都県県県府
埼玉県 (寄居町・花園町) 第22回 (昭和42年度)	1位 2位 3位 5位	東千埼愛岩群徳大	京葉玉知手馬島阪	都県県県県県県府	富大埼高静大北山	山阪玉知岡分海口	県府県県県県道県	埼京愛北徳兵秋青	玉都知海島庫田森	県府県道県県県県	大香岩栃神群山埼	阪川手木馬口玉	府県県県県県県県	埼兵北広富秋岐福	玉庫海島山田阜岡	県県道県県県県
福井県 (福井市) 第23回 (昭和43年度)	1位 2位 3位 5位	愛千北福京愛山福	知葉海岡都媛口井	県県道県府県県県	富東岩兵栃高静大	山京手庫木知岡阪	県都県県県県県府	愛福神高京広岩福	知岡奈川知都島手井	県県県県府県県県	大東栃広愛富岩香	阪京木島知山手川	府都県県県県県県	東埼広北福兵岐秋	京玉島海岡庫阜田	都県県道県県県
長崎県 (佐世保市) 第24回 (昭和44年度)	1位 2位 3位 5位	東京千愛山大徳長	京都葉知口阪島崎	都府県県県府県県	東静山京富香山福	京岡形都山川口岡	都県県府県県県県	京広大長愛福秋岩	都島阪崎知岡田手	府県府県県県県県	大栃山岩福静北徳	阪木口手井岡海島	府県県県県県道県	埼岐広東福北兵秋	玉阜島京岡海庫田	県県県都県道県
岩手県 (花巻市) 第25回 (昭和45年度)	1位 2位 3位 5位	東千愛静山大青京	京葉知岡口阪森都	都県県県県府県府	東大岩愛兵宮山千	京阪手知庫城口葉	都府県県県県県県	愛大神岩広青香	知阪奈川手島森川一	県府県県県県県	秋岩栃大神青鹿山	田手木阪奈川森島	県県県府県県県県	岩広埼岐北新大	手島玉阜海潟分一	県県県県道県
和歌山県 (白浜町) 第26回 (昭和46年度)	1位 2位 3位 5位	東千福静徳大岩宮	京葉岡岡島阪手城	都県県県県府県県	東岐青栃福岩神大	京阜森木島手奈川阪	都県県県県県県府	埼京大鹿愛山神青	玉都阪島児知口奈川森	県府府県県県県	青大岡愛鹿愛富東	森阪山媛児知山京	県府県県県県都	広愛神大北宮愛熊	島知奈川阪海城媛本	県県府道県県
鹿児島県 (指宿市) 第27回 (昭和47年度)	1位 2位 3位 5位	静東千岡岩鹿大福	岡京葉山手島阪岡	県都県県県県府県	愛秋富大東岡鹿愛	知田山阪京山島媛	県県県府都県県県	東京大鹿愛青三岐	京都阪島児知森重阜	都府府県県県県	青大東鹿福栃愛大	森阪京島井木媛分	県府都県県県県	岩大鹿北千熊福愛	手阪島海葉本并知	県府県道県県
千葉県 (銚子市) 第28回 (昭和48年度)	1位 2位 3位 5位	静東岡千茨北徳埼	岡京山葉城海島玉	県都県県県道県	千東神宮山愛福青	葉京奈川城口媛井森	県都県県県県	大埼千青徳福北岡	阪玉葉森島岡海山	府県県県県道県	栃高青山神京千愛	木知森形奈川都葉媛	県県県県府県	岩北岐千兵広熊福	手海阜葉庫島本井	県道県県県



開催地・年度	順位	一般男子の部			一般女子の部			高校男子の部			高校女子の部			軟式一般男女の部		
茨城県 (鉾田市) 第29回 (昭和49年度)	1位	大和東 静埼 愛茨 京	阪歌 山京 岡玉 媛城 都府	府県都 県県 県県 県府	栃東 岩鹿 愛神 岡福	木京手 島児知 川奈山 井川	県都 県県 県県 県県 県県	愛大 埼徳 神広 青茨	知阪 玉島 奈川 島森 城	県府 県県 県県 県県 県県	青京 栃新 愛香 茨山	森都 木渥 知川 城口	県府 県県 県県 県県 県県	北徳 広兵 岩福 愛神	海島 島庫 手岡 知川	道県 県県 県県 県県 県県
	2位															
	3位															
	5位															
開催地・年度	順位	成年男子の部			成年女子の部			少年男子の部			少年女子の部					
三重県 (桑名市) 第30回 (昭和50年度)	1位	大静東 和青 三徳 千	阪岡京 山森 重島 葉	府県都 県県 県県 県県	栃三東 大岩 埼福 愛	木重京 阪手 玉井 知	県都 府県 県県 県県	埼京茨 大神 静愛 広	玉都城 阪奈 川岡 知島	県府 県府 県県 県県	福熊青 三栃 京兵 愛	岡本 森重 木都 庫媛	県県 県県 県府 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
佐賀県 (嬉野市) 第31回 (昭和51年度)	1位	千東大 北青 宮長 静	葉京阪 阪海 森城 野岡	県都府 道県 県県 県県	青神東 三栃 大佐 宮	森川京 重木 阪賀 崎	県都 県県 県府 県県	大京新 茨青 東岡 鹿	阪都潟 城森 京山 児島	府府 県県 県県 都県	青福栃 愛神 兵熊 宮	森岡木 媛奈 庫本 崎	県県 県県 県県 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
青森県 (青森市) 第32回 (昭和52年度)	1位	青大千 東神 北福 広	森阪葉 京川 海岡 島	県府県 都県道 県県	東青岩 岡北 千三 大	京森手 山海 葉重 阪	都県 県県 県道 県府	埼東青 大岩 福愛 京	玉京森 阪手 井知 都	県都 県府 県県 県府	宮岩愛 福青 栃京 山	崎手知 岡森 木都 口	県県 県県 県府 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
長野県 (須坂市) 第33回 (昭和53年度)	1位	大愛千 福北 青東 徳	阪知葉 岡海 森京 島	府県県 県道 県都 県	東岩静 三北 青長 福	京手岡 重海 森野 岡	都県 県県 県道 県県	埼青京 岡秋 栃山 福	玉森都 山田 木口 岡	県県 府県 県県 県県	兵大長 栃青 東福 宮	庫阪野 木森 京岡 崎	県府 県県 県都 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
宮崎県 (串間市) 第34回 (昭和54年度)	1位	東静千 福青 京京 福宮	京岡葉 井森 都岡 崎	都県県 県県 府県 県県	東神青 栃北 岩山 宮	京奈森 木海 手口 崎	都県 県県 県道 県県	埼京青 神秋 愛愛 宮	玉都森 奈川 田知 媛崎	県府 県県 県県 県県	栃福青 神東 長愛 兵	木岡森 奈川 京野 知庫	県県 県都 県県 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
栃木県 (足利市) 第35回 (昭和55年度)	1位	神東栃 大静 和岡 福	奈京木 阪岡 山岡	県都県 府県 県県 県県	東神大 青北 長福 宮	京奈阪 森海 野岡 崎	都県府 県道 県県 県県	京東埼 神青 栃栃 愛宮	都京玉 奈川 森木 媛崎	府都 県県 県県 県県	福青栃 大東 神愛 三	岡森木 阪京 川知 重	県県 県府 都県 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
滋賀県 (草津市) 第36回 (昭和56年度)	1位	静東神 岡奈 千山 徳島 福岡	京川 山葉 島島 岡	県都県 県県 県県 県県	神宮富 千兵 青北 静	奈川 岡葉 庫森 海岡	県県 県県 県県 県道 県	京東鹿 埼埼 愛福 愛神	都京島 奈川 玉知 岡媛 奈川	府都 県県 県県 県県	長神三 宮福 栃広 石	野川 重城 岡木 島川	県県 県県 県県 県県			
	2位															
	3位															
	5位															
島根県 (平田市) 第37回 (昭和57年度)	1位	神静東 大福 愛青 徳	奈岡京 阪岡 知森 島	県県都 府県 県県 県県	神千東 栃青 静長 兵	奈川 葉京 木森 岡野 庫	県県都 県県 県県 県県	栃東埼 鹿京 徳島 福	木京玉 児都 島島 根岡	県都 県県 府県 県県	神福青 群群 兵山 石北	奈川 岡森 馬庫 口川 海	県県 県県 県県 県道			
	2位															
	3位															
	5位															
群馬県 (中之条町) 第38回 (昭和58年度)	1位	千和京 埼静 福徳 山	葉歌都 山玉 岡岡 島口	県県府 県県 県県 県県	神静東 栃埼 福福 山千	奈岡京 木玉 岡口 葉	県県都 県県 県県 県県	青埼京 島愛 福福 愛神	森玉都 根媛 媛岡 知川	県県府 県県 県県 県県	神群青 福福 宮山 奈東	奈川 馬森 岡岡 崎形 良京	県県 県県 県県 県都			
	2位															
	3位															
	5位															

わたSHIGA輝く国スポ 2025

開催地・年度	順位	成年男子の部			成年女子の部			少年男子の部			少年女子の部			
奈良県 (吉野町) 第39回 (昭和59年度)	1位	神奈川 埼玉 千葉 京府 奈都 静良 福岡 青森	県県 府府 県県 県県	東千京 青葉 福森 静岡 三柄 奈木	都県 県県 県県 県県 県県	埼神玉 青奈 愛川 山森 京知 奈口 徳都 良島	県県 県県 県府 県県	大神大 神奈 北京 青海 熊森 鹿本 福児 奈岡 良	府県 道県 県県 県県 県県					
	2位													
	3位													
	5位													
鳥取県 (青谷町) 第40回 (昭和60年度)	1位	千東和 北鳥 京奈 埼玉	県都 道県 府県 県府	千奈福 兵東 長青 愛	県県 県県 都県 県県	愛埼知 神玉 東奈 福京 兵岡 京庫 徳都 島府	県県 都県 県府 県県	大神大 神鳥 東東 鹿東 佐佐 青岡 岡青 賀森 山	府県 県都 県県 県県					
	2位													
	3位													
	5位													
山梨県 (大月市・上野原市) 第41回 (昭和61年度)	1位	埼千神 神奈川 東葉 奈京 茨良 和城 山歌 梨山	県県 都県 県府 県県	神山千 千青 和長 富柄	県県 県県 県府 県県	福埼高 京玉 青知 東都 鹿森 山児 梨島	県県 府県 都県 県県	大神大 神山 岐岐 青岡 岡東 東佐	府県 県県 県府 県県					
	2位													
	3位													
	5位													
沖縄県 (石川市) 第42回 (昭和62年度)	1位	東神静 神沖 広沖 滋奈 北	都県 県県 県府 県県	神京東 京東 岡岐 岡福 本熊 縄沖	県府 都県 県県 県県	埼京大 大宮 福沖 高知 愛	県府 府県 県県 県県	大神大 神山 岐岐 千高 青沖	府県 県県 県府 県県					
	2位													
	3位													
	5位													
開催地・年度	順位	成年男子1部		成年男子2部		成年女子1部		成年女子2部		少年男子		少年女子		
京都府 (宮津市) 第43回 (昭和63年度)	1位	千静神 神東 滋京 和歌 愛都	県県 都県 府県 県府	神京和 京歌 青森 福井 香川 岐阜 千葉	県府 県県 県府 県県	埼京青 山山 奈奈 徳徳 大分 愛知	県府 県県 県府 県県	埼大玉 宮阪 京崎 北都 愛海 静京 岡	県府 府県 道県 都県 県府	神大京 大東 京千 山山 熊熊 高知 高森	県府 道府 道府 道府			
	2位													
	3位													
	5位													
北海道 (美唄市) 第44回 (平成元年度)	1位	神埼東 和歌 広島 滋賀 愛知 沖縄	県都 県県 県府 県県	北大神 海静 分岡 川口 手井 都府	県府 県県 県府 県県	北京東 京愛 都都 都都 都都 都都	海都京 京知 知木 森森 井井 奈川	道 府 都 府 県 県 県 県	大埼北 京京 福福 愛愛 宮宮 東東	府県 道府 道府 道府	神東福 北北 熊熊 京京 青青 岐岐	県都 県道 府道 府道		
	2位													
	3位													
	5位													
福岡県 (柳川市) 第45回 (平成2年度)	1位	神大福 福岡 山静 滋千 新渥	県府 県県 県府 県県	福滋静 岡東 岡京 手山 奈川 分県	県府 県県 都県 県県	神大福 福岡 岐岐 岡東 山山 千千	県府 県県 都県 県県	東岐石 岐石 福青 青広 和香	都県 県県 県府 県県	大愛福 福岡 埼山 京京 栃東	府県 県府 県府 県都	神熊岡 岡福 高高 東東 大青	県県 県都 府府	
	2位													
	3位													
	5位													
石川県 (七塚町) 第46回 (平成3年度)	1位	千神大 奈岡 良山 島島 縄渥 沖新	県府 県県 県府 県県	神奈福 福岡 石川 高島 岡山 岡静	県県 県県 県府 県県	神大山 山山 東東 岐岐 福福 千千	県府 県都 県県 県県	千熊石 大川 大京 埼玉 岡山 青森	県県 府都 県県 県県	埼京大 大愛 宮山 福福 東東	県府 府府 府府 府府	宮青熊 高神 神福 岡岡 栃栃	県県 県県 県府 県府	
	2位													
	3位													
	5位													
山形県 (河北町・長井市) 第47回 (平成4年度)	1位	埼福神 神奈川 東玉 千京 山葉 大形 香阪 川	県県 都県 府県 県府	山広兵 庫東 京本 海海 梨梨 川静	県県 都県 道県 県県	滋神山 賀形 奈岡 京森 賀京 奈海 川阜	県県 県県 都道 県道	埼熊山 和富 秋山 香田 静川 岡	県県 県県 県府 県県	愛埼知 大神 高奈 青京 東京 山形	県府 府県 府県 県都	青宮香 香香 香香 香香 香香	県県 県県 県府 県府	
	2位													
	3位													
	5位													
香川県 (多度津町・高瀬町) 第48回 (平成5年度)	1位	愛東大 千京 埼阪 神葉 香玉 福川 岡	県都 府府 県県 県府	香徳千 三三 和歌 福岡 青森 新渥	県県 県県 県府 県県	大滋東 岐岐 愛愛 福福 香香 神神	府県 都県 県県 県県	香愛広 神神 大太 熊熊 徳徳 大分	川知島 奈奈 阪阪 本本 島島 分分	県県 県府 府県 県県	埼愛香 大京 青青 高高 神神	県府 府府 府府 府府	香岐愛 宮宮 大太 北北 山山 東東	県県 県府 道県
	2位													
	3位													
	5位													



開催地・年度	順位	成年男子1部	成年男子2部	成年女子1部	成年女子2部	少年男子	少年女子
愛知県 (名古屋市) 第49回 (平成6年度)	1位 2位 3位 5位	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 静岡県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
福島県 (須賀川市) 第50回 (平成7年度)	1位 2位 3位 5位	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 静岡県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
開催地・年度	順位	成年男子の部		成年女子の部		少年男子の部	少年女子の部
広島県 (大竹市) 第51回 (平成8年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
大阪府 (池田市) 第52回 (平成9年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
神奈川県 (平塚市・秦野市) 第53回 (平成10年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
熊本県 (嘉島町) 第54回 (平成11年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
富山県 (福光町・福岡町) 第55回 (平成12年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
宮城県 (若柳町・中田町) 第56回 (平成13年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
高知県 (高知市) 第57回 (平成14年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県
静岡県 (湖西市) 第58回 (平成15年度)	1位 2位 3位 5位	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県	東京都 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 和歌山県

わたSHIGA輝く国スポ 2025

開催地・年度	順位	成年男子の部				成年女子の部			少年男子の部			少年女子の部		
埼玉県 (春日部市) 第59回 (平成16年度)	1位	神奈川 東埼玉 埼玉 大板 青森 千京	奈京 京玉 阪阪 森森 葉葉 庫庫 都都	県都 府府 県県 県県 県府 府府	埼玉 城森 島島 岡城 城川 奈阜	県県 県県 県県 県県 県府 県府	青森 宮埼玉 埼山 岡庫 兵知 愛潟 新京	県県 県県 県県 県府 県府 県府	青森 宮城 岡山 高大 大神 兵三	県県 県県 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
岡山県 (総社市) 第60回 (平成17年度)	1位	東愛 神島 宮宮 岡青 山山	京知 奈根 川城 山森 口口	都県 県県 県県 県県 県府 県府	岐広 茨兵 岡大 静神	阜島 城庫 山阪 岡岡 奈川	青森 宮愛 岡京 埼千 大太	県県 県県 県府 県府 県府 県府	青森 宮神 岡大 熊三 兵兵	県県 県県 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
兵庫県 (豊岡市) 第61回 (平成18年度)	1位	埼玉 兵神 東東 宮宮 愛愛	京都 奈京 川崎 城城 知知	県府 県県 県都 県県 県府 県府	岐熊 兵茨 神神 北長 広広	阜本 庫庫 城城 川海 野野 島島	青森 宮玉 分分 知知 川岡 城城	県府 県県 県県 県県 県府 県府	青森 宮神 大愛 高岡 宮宮	県県 県府 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
秋田県 (鹿角市) 第62回 (平成19年度)	1位	埼玉 東青 秋秋 宮宮 和神 京京	玉京 森森 田城 山山 川都	県都 県県 県県 県県 県府 県府	静岐 茨茨 神神 広宮 千千 熊熊	岡阜 城城 川島 崎崎 葉葉 本本	青森 宮石 島島 山山 愛大 福福	県府 県県 県県 県県 県府 県府	大青 岐岐 神神 石石 北北 香香 宮宮	府県 県県 県県 県道 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
大分県 (杵築市) 第63回 (平成20年度)	1位	青森 京京 静静 東東 埼大大 宮宮	森都 岡岡 京京 玉玉 阪阪 分分 城城	県府 県都 県都 県府 県府 県府	茨岐 静静 宮宮 千千 熊熊 宮宮	城阜 岡岡 城城 葉葉 本本 崎崎 島島	青大 福福 京京 岐岐 兵兵 石石 埼埼	県県 県府 県府 県府 県府 県府	大青 宮宮 神神 東東 埼埼 新新 福福	府県 県県 県都 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
新潟県 (柏崎市) 第64回 (平成21年度)	1位	青森 京京 山山 神神 北大 静宮	森都 口口 川海 分岡 城城	県府 県県 県道 県府 県府 県府	茨宮 神神 静静 大愛 奈奈 広広	城城 川岡 阪阪 知知 良良 島島	青福 石石 京京 岐岐 愛愛 高大	県県 県府 県府 県府 県府 県府	大高 新新 福福 青青 石石 岐岐 熊熊	府県 県県 県県 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
千葉県 (旭市) 第65回 (平成22年度)	1位	青山 埼埼 京京 長長 広広 東東	森口 玉玉 都都 野野 島島 京京 葉葉	県県 県府 県府 県府 県都 県都	広宮 青青 神神 茨茨 千千 北北 福福	島城 森森 川城 葉葉 海海 岡岡	山愛 石石 福福 青青 岡岡 京京 北北	県県 県府 県府 県府 県府 県府	高青 新新 大大 静静 山山 岡岡 石石	県県 県府 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
山口県 (萩市・柳井市) 第66回 (平成23年度)	1位	山青 埼埼 愛岡 広愛 東東	口森 玉玉 媛媛 山山 島島 知知 京京	県県 県府 県府 県府 県都 県都	茨広 東東 岐岐 高千 宮宮 山山	城島 京京 阜阜 知知 葉葉 崎崎 口口	青愛 石石 山山 大福 高高 京京	県県 県府 県府 県府 県府 県府	大高 岡岡 山山 埼埼 岐岐 神神	府県 県県 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
岐阜県 (岐阜市) 第67回 (平成24年度)	1位	東青 京京 岐岐 山山 兵兵 大愛	京森 都都 阜阜 口口 庫庫 分分 知知	都県 府府 県府 県府 県府 県府	岐東 茨茨 広広 静岡 宮宮 神神	阜京 城城 島島 岡岡 山城 川奈	青山 岐岐 愛愛 福福 石石 長高	県県 県府 県府 県府 県府 県府	青高 福福 岐岐 崎崎 新山 神神	県県 県府 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													
東京都 (府中市) 第68回 (平成25年度)	1位	東青 宮宮 山山 長長 愛愛 北神	京森 城城 口口 崎崎 知知 海海	都県 県府 県府 県府 県府 県府	山東 青青 広広 岐岐 茨茨 静大	口京 森森 島島 阜阜 城城 岡岡 阪阪	青愛 岐岐 山山 石石 福福 高宮	県県 県府 県府 県府 県府 県府	岐埼 青山 大大 神神 福福 高高	県県 県府 県府 県府 県府 県府				
	2位													
	3位													
	5位													

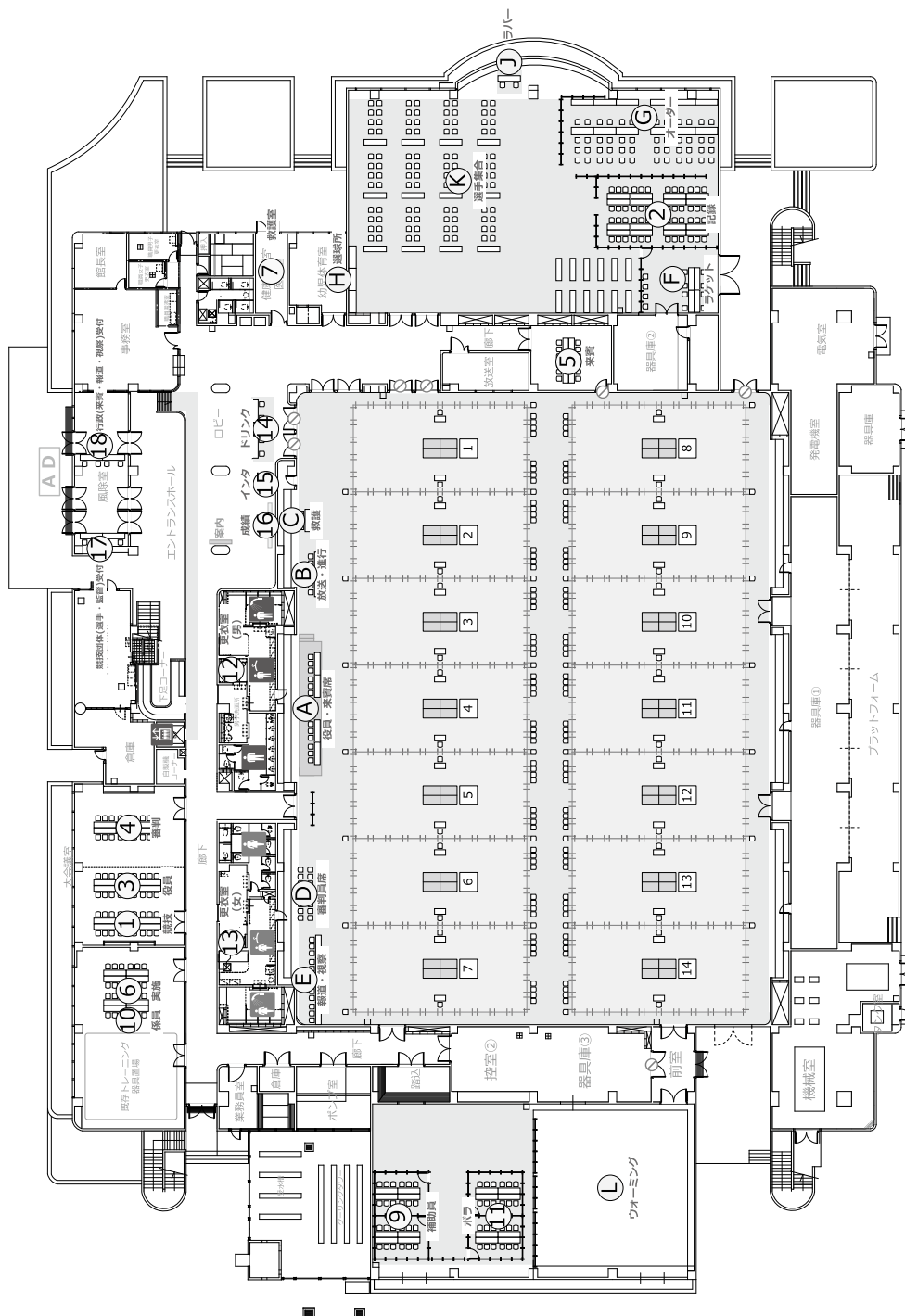
わたSHIGA輝く国スポ 2025

開催地・年度	順位	成年男子の部			成年女子の部			少年男子の部			少年女子の部		
佐賀県 (基山町) 第78回 (令和6年度)	1位	佐	賀	県	茨	城	県	愛	知	県	大	阪	府
	2位	東	京	都	佐	賀	県	山	口	府	愛	知	県
	3位	愛	知	県	青	森	県	京	都	県	岡	山	県
	5位	大	分	県	東	京	都	兵	庫	県	高	知	県
		青	森	県	香	川	県	三	重	県	新	潟	県
滋賀県 (野洲市) 第79回 (令和7年度)	1位	兵	庫	県	埼	玉	県	神	奈	川	栃	木	県
	2位	三	重	県	静	岡	県	島	根	県	島	根	県
	3位	高	知	県	神	奈	川	長	野	県	神	奈	川
	5位												



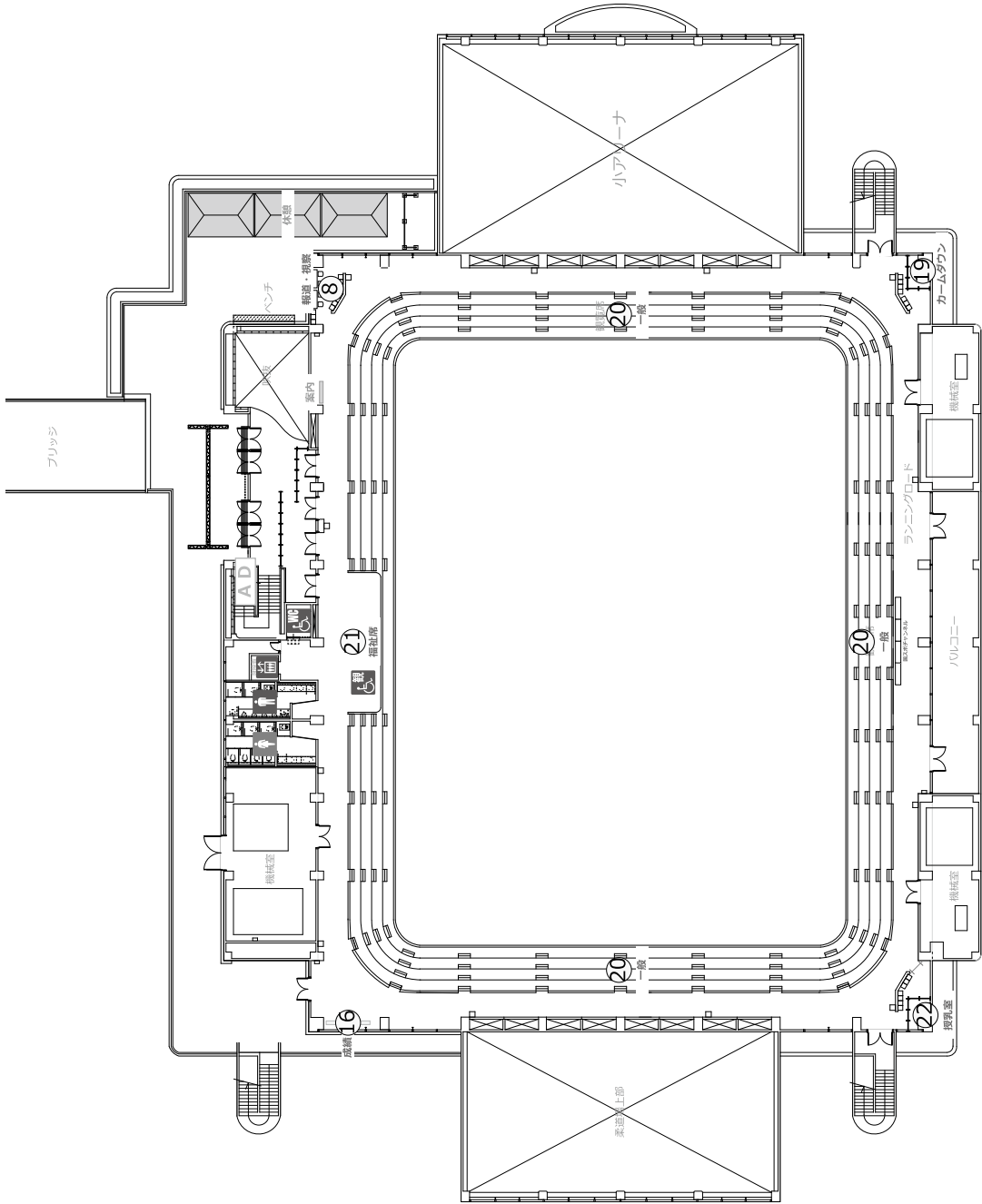
NO.	施設名
A	競技役員・来賓席
B	放送・進行席
C	救護席
D	審判員席
E	報道員・視察員席
F	ラケットコントロール室
G	オーダー交換所
H	選球所
J	ラバー貼替所
K	選手集合所
L	ウォーミングアップスペース

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ポランティア控室
12	選手更衣室（男）
13	選手更衣室（女）
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体（選手・監督）受付
18	行政（来賓・報道・視察）受付
19	カーンダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	



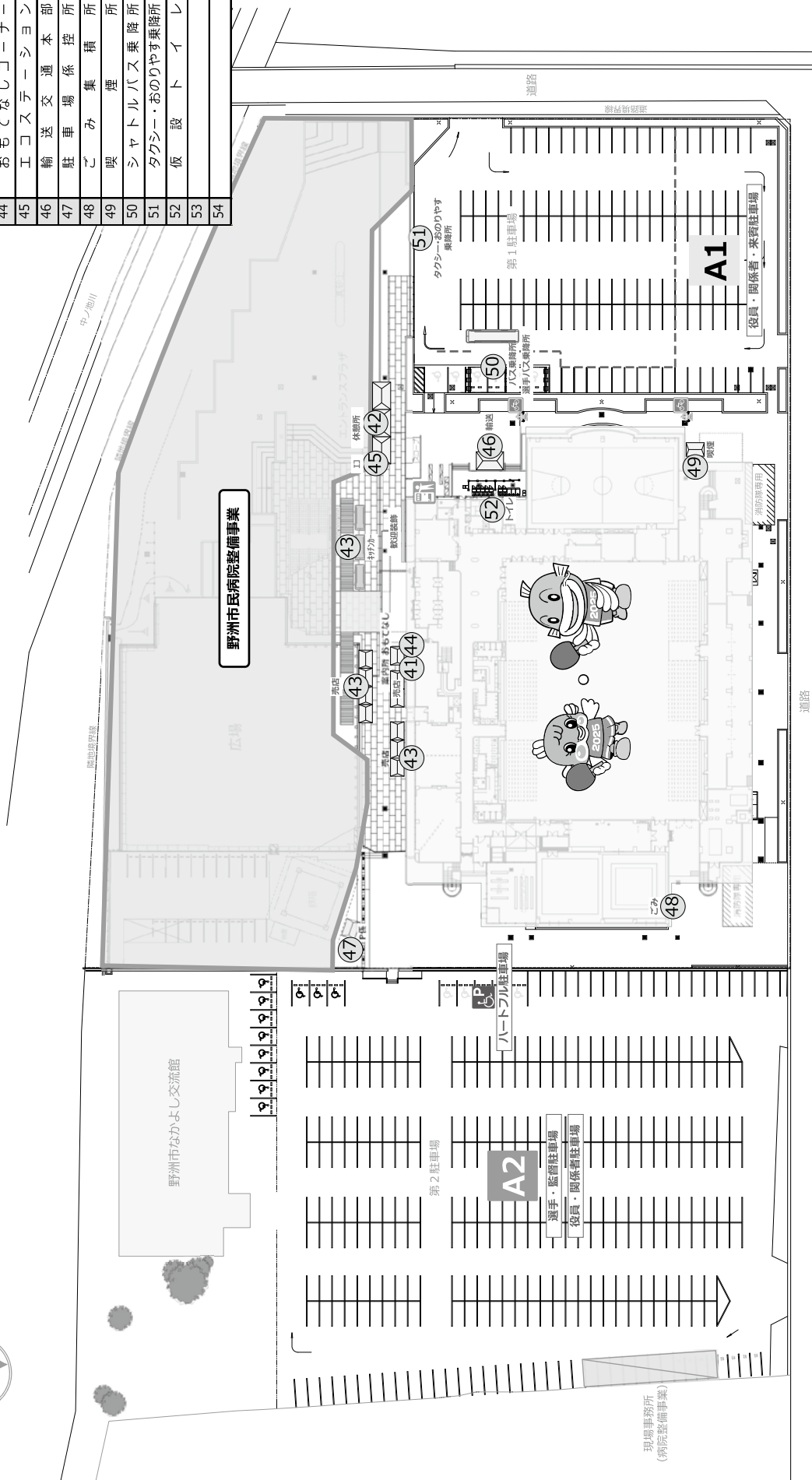
NO.	施設名	施設名
A	競技役員・来賓席	
B	放送・進行席	
C	救護席	
D	審判員席	
E	報道員・視察員席	
F	ラケットコントロール室	
G	オーダー交換所	
H	選球所	
J	ラバー貼替所	
K	選手集合所	
L	ウォーミングアップベース	

NO.	施設名	施設名
1	競技本部	
2	記録本部	
3	競技役員控室	
4	審判員控室	
5	来賓控室	
6	実施本部	
7	救護室	
8	報道員・視察員控室	
9	競技補助員控室	
10	競技係員控室	
11	ボランティア控室	
12	選手更衣室（男）	
13	選手更衣室（女）	
14	ドリンクコーナー	
15	インタビュースタッフ	
16	成績掲示板	
17	競技団体（選手・監督）受付	
18	行政（来賓・報道・視察）受付	
19	カーンダウンスベース	
20	一般観客席	
21	福祉社席	
22	授乳室	
23		





NO.	施設名
41	案内所
42	一般休憩所
43	売店
44	おもてなしコーナー
45	エコステーション
46	輸送交通本部
47	駐車場係控所
48	ごみ集積所
49	喫煙所
50	シャトルバス乗降所
51	タクシー・おのりやす乗降所
52	仮設トイレ
53	
54	



関係機関連絡先一覧表

◆競技会場

名 称	所 在 地	電話番号
野洲市総合体育館	滋賀県野洲市富波甲 1339 番地	077-587-3477

◆実行委員会事務局

名 称	所 在 地	電話番号
野洲市 国スポ・障スポ大会推進室 (大会当日はつながりません)	滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1	077-587-8813

◆医療機関

名 称	所 在 地	電話番号
市立野洲病院	滋賀県野洲市小篠原 1094 番地	077-587-1332
済生会滋賀県病院	滋賀県栗東市大橋 2 丁目 4-1	077-552-1221
湖南広域休日急病診療所	滋賀県栗東市大橋 2 丁目 4-1	077-551-1599



※医療ネット滋賀で滋賀県の医療機関・薬局が検索できます。

☞ (<https://www.shiga.iryō-navi.jp/>)

◆警察

種 別	所 在 地	電話番号
滋賀県警 守山警察署	滋賀県守山市金森町 494	077-583-0110

◆タクシー会社

名 称	所 在 地	電話番号
鉄道	JR 西日本お客様センター	0570-00-2486
タクシー	近江タクシー守山営業所	滋賀県守山市古高町 230 番地 077-582-0106
	光タクシー	滋賀県野洲市市三宅 450-3 0120-077-586 077-587-3366



日本卓球協会 公認品目一覧

2025年5月1日

NO.	公認指定業者名 ※五十音順	基本ブランド	ボール		卓球台	ラバー	ラケット	サポート	ネット	ユニフォーム	新規格 接着剤	スポーツ フロア
			40mm	ラージ								
1	アームストロング株式会社	Armstrong				○	○					
2	アシックスジャパン株式会社	asics								○		
3	アバロックスジャパン合同会社	Avalox					※3					
4	株式会社アンドロジャパン	andro	○			○	○			○	○	
5	株式会社アンビション	WRM					○			○		
		銀河					○					
		OSP					○					
6	イルマソフト株式会社	DONIC				※1	○			○	○	
		akkadi					○					
		THE WORLD CONNECT	○	○			○			○	○	
7	Wizard株式会社	Wizard					○					
8	ウイングスパン合同会社	WINGSPAN					○					
9	株式会社エバニュー	EVERNEW			○							
10	株式会社小川長春館	ogawa			○							
11	株式会社河合楽器製作所	KAWAI			○							
12	株式会社啓文社	Nozomi				○						
		TIZOO								○		
13	株式会社KOKUTAKU	KOKUTAKU				○	○					
14	株式会社三英	SAN-EI			○			○	○	※2		○
15	株式会社サンケイ技研	SANKEI				○						
16	株式会社サンラッキー	Sun Lucky				○	○					
17	株式会社ジュウイック	JUIC				○	○			○	※4	
		Dr. Neubauer				○	○					
		cornilleau					※5					
18	新サム株式会社	T. MIRACLE								○		
19	スティガススポーツジャパン株式会社	STIGA				○	○			○	○	
20	スマイル株式会社	Smile					○					
21	豊通ファッションエクスプレス株式会社	Admiral								○		
22	センターフィールド株式会社	RALLY ACE					○					
23	多衣夢工房	UeA								○		
24	株式会社ダーカー	DARKER				※6	○			○		
25	株式会社卓永	XIOM			○	○	○			○	○	
26	株式会社タマス	Butterfly	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		フロイライン								○		
27	TIBHAR JAPAN 株式会社	TIBHAR				○	○			○	○	
28	デジックスアンドリンク株式会社	Killerspin								○		
		BMD-HS								○		
29	トーエイライト株式会社	TOEI LIGHT			○							
30	株式会社ドクターヤン	the egg					○			○		
		Blütenkirsche					○					
31	西尾レントオール株式会社	Sport Court										○
32	日本卓球株式会社	Nittaku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		双喜	○			○	○					
33	ASP合同会社 (旧 ニューヘッジ)	NEW HEDGE					○			○		
34	株式会社VICTAS	TSP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		VICTAS	○		○		○	○	○	○	○	
35	有限会社ブラウド	NevaGiva				○	○			※13		
		TMOUNT KTS					○					
36	ミズノ株式会社	Mizuno			○	○	○	○	○	○		
37	株式会社ミライジュ	RHIDA					○					
38	株式会社ムーブ	ムーブ								○		
39	株式会社ヤサカ	YASAKA	○		○	○	○	○	○	○	○	
40	株式会社ユニバー	UNIVER			○							
41	株式会社YOTSUMOTO	FINALWINNER								○		
42	ヨーラ・ジャパン 株式会社	JOOLA	※7	※8	※9	○	○	※10	※11	○	○	
43	株式会社ラリーズ	Rallys					○			○		
44	株式会社ルーセント	LUCENT								○		
	L A マイスター株式会社	Tinsue										※12

※1 イルマソフトのDONICブランドのラバーの使用有効期限は2025年11月末日です。

※2 三英のSAN-EIブランドのウエアの使用有効期限は2026年2月10日です。

※3 アバロックスジャパンのAvaloxブランドのラケットの使用有効期限は2026年3月31日です。

※4 ジュウイックのJUOCブランドの新規格接着剤の使用有効期限は2026年3月31日です。

※5 ジュウイックのcornilleauブランドのラケットの使用有効期限は2026年3月31日です。

※6 ダーカーのDARKERブランドのラバーの使用有効期限は2026年3月31日です。

※7・8・9・10・11 ヨーラブランドのボール・卓球台・サポート・ネットの有効使用期限は2026年10月1日です。

※12 Tinsueブランドのスポーツフロアの使用有効期限は2026年10月1日です。

※13 ブラウドのNevaGivaブランドのウエアの使用有効期限は2027年3月31日です。

★消耗品である「ボール・ラバー・ユニフォーム・ラケット」は公認期間を外れてから使用有効期間は2年間ですが、恒久品である「卓球台・ネット・サポート・スポーツフロア」はそれ以降でもJTTA主催の全国大会では使用できませんが、体育施設などで『規格品』としてそのまま使用可能です。



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬



MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください



スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書>>



JSPPO事業についてはこちら>>>>JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

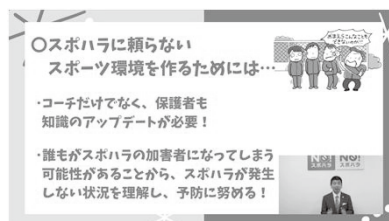


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場を実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

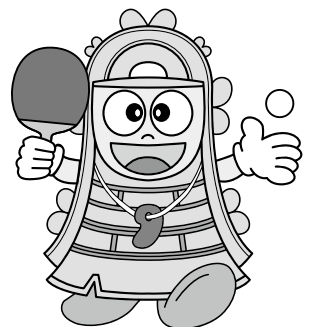
さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

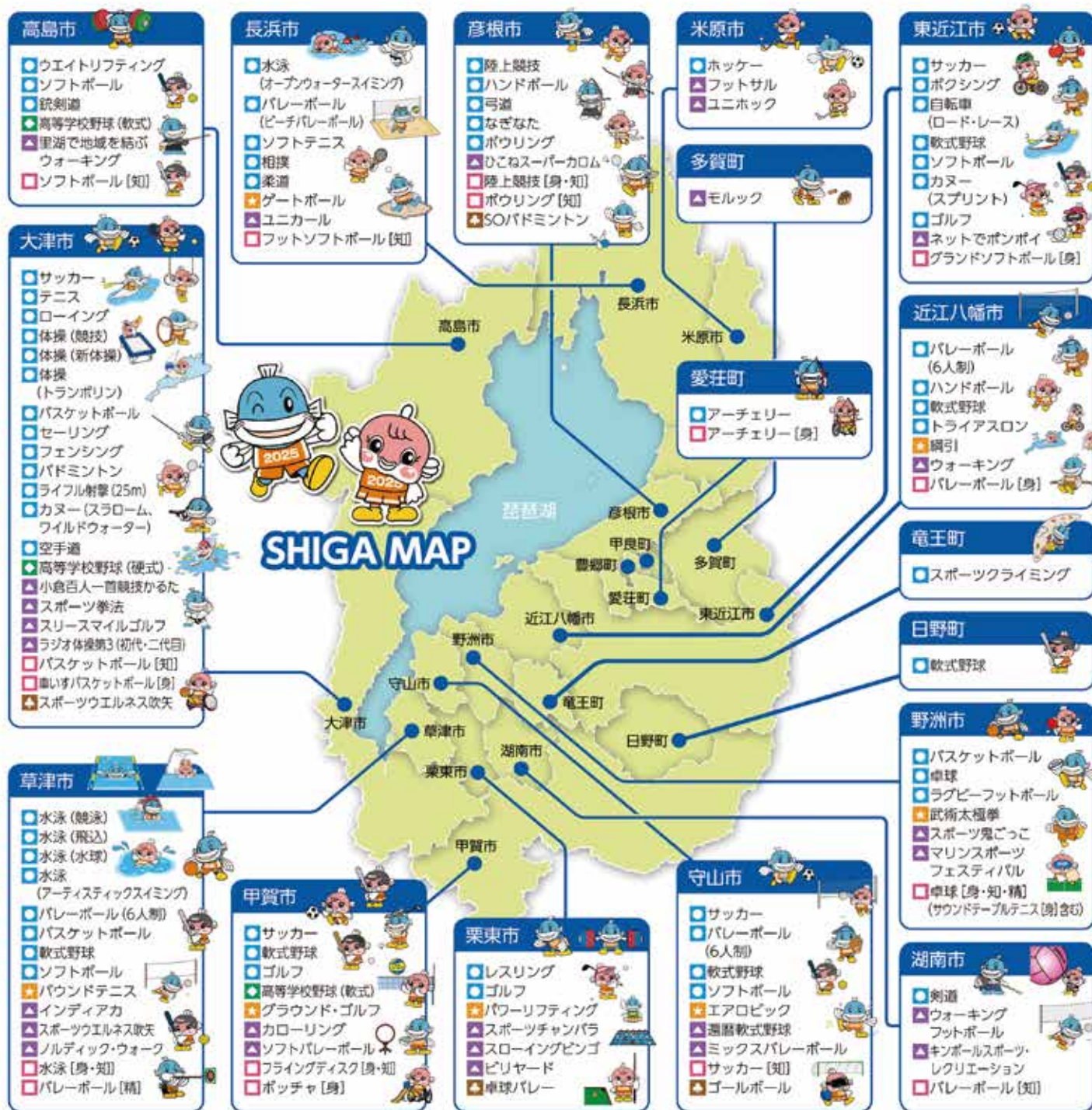


公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストレーションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府 向日市

- 自転車(トラック・レース)

大阪府 豊能郡能勢町

- ライフル射撃(50m, 10m, BR・BP)

兵庫県 三木市

- 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
国スポ前期実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)
障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから! 滋賀2025 検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR

動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



Instagram



X



大会HP



FSC



ミックス



VEGETABLE



●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
●インキ: 植物由来インキを使用



野洲市

笑顔あふれるにじいろ都市 やす

記録結果を掲載しています

◆開設期間：令和7年9月28日(日)～12月26日(金)
インターネットサイト

https://kirokukensaku.net/5NS25/discipline_220_20250928.html



PC・スマートフォン



フィーチャーフォン

各競技の決勝戦の様子をライブ配信します

◆国スポチャンネル

<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/kyougi/tabletennis>

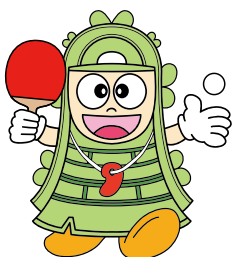


PC・スマートフォン

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会 お問合せ窓口

◆電話番号

0120-550-882 (9月～10月 毎日 9:00～18:00)



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ。
第79回国民スポーツ大会 2025

